

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価							
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合								
代替 種 類 運 転	格納容器再循環サブシステム の動作	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3		
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	4(2)	4	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	1	1	1	ケース 3	
	格納容器再循環サブシステム の動作	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	4(2)	4	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブシステム の動作	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環サブシステム の動作	1	1	1	1	1	ケース 3	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	バウナダリ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合		B:直流通過を 延命した場合			
代 替 手 順 の 手 順 配 置	操 作	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6
		原子炉補機冷却水サーージ タンク圧力(AAM用)	1	1	1	1	②	—	原子炉補機冷却水サーージ タンク圧力(可兼用)	1	1	1	1	ケース 1
		C、D—格納容器再循環 ユニット補機冷却水流量	2	2	2	2	②	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 4
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	②	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	②	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			
代 替 手 順 の 手 順 等	格納容器再循環ポンプス クローリ回路の故障が 発生した場合の手順	格納容器再循環サンプ水 位(広域)						2	1	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水 位						1	0	1	ケース 1	
		格納容器水位						1	0	1	ケース 1	
		燃料取動用水ピット水位						2(2)	2	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位						2(2)	2	1	ケース 2	
		E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)						1	1	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量						1	1	0	1	ケース 2
		燃料取動用水ピット水位						2(2)	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位						2(2)	2	1	1	ケース 2
		E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)						1	1	0	1	ケース 2
操 作	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	格納容器再循環サンプ水 位(広域)						2	1	1	ケース 2	
		E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)						1	0	1	ケース 2	
		高圧注入流量						2(2)	2	1	ケース 2	
		低圧注入流量						2(2)	2	1	ケース 2	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
代替 種 類 運 転	格納容器高圧降下ポンプ系 クレーン装置の動作が見ら れた場合の手順	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	
		使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	2	—
		使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	2	—
		ほう酸タンク水位	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		体積調整タンク水位	2	2	0	0	③	—	—	充てんポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
		ほう酸補給ライン流量制御	1	1	0	0	③	—	—	ほう酸ポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
		ほう酸補給ライン流量計算 制御	1	1	0	0	③	—	—	ほう酸ポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
		1次系純水補給ライン流 量制御	1	1	0	0	③	—	—	1次系補給水ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—	—
		1次系純水補給ライン流 量計算制御	1	1	0	0	③	—	—	1次系補給水ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—	—
ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		

全、すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

*1 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替 作 業 運 転 格納容器内隔離ポンプス クレーン用巻の巻味が更た れた場合の手順	操作	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	コース 6	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	コース 6
		補助給水流量	3(3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3 (全)	3 (全)	0	コース 3
	監視	高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0	0	0	0	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0	0	0	0	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	2	0	0	0	0	0	—
		高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	確認	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		全:すべてのループの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数									

[] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合
代 替 炉 心 注 水 代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ ボ イ ラ ー 注 水 判 断 基 準	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2	2	0	0	③	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	—	—	—	—	—
		冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2	2	0	0	③	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	—	—	—	—	—
	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	4	4	0	0	③	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	4(2)	4	1	1	—	—
	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	7(2)	7	1	1	③	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	—	—	—	—	—	—
	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	5	5	0	0	③	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	—	—	—	—	—	—
	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	8	8	0	0	③	冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		評価	
				直後	A:直流電源を 延命した場合				B:直流電源を 延命した場合	直後		
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	①	—	—	—	—	—	ケース 1
		1次冷却材圧力(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域-低 温側)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1
		サブクール度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)	4(2)	4	1	1	①	—	—	—	—	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水 位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1
		格納容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1
		燃料取扱器用ホピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	ケース 2
補助給水ホピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 2		
B-1格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 2		
代替格納容器スプレイ水 量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 2		
燃料取扱器用ホピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合				
代 替 心 注 水 判 断 基 準 B-1冷却ポンプ(自己冷 却)による代替冷却心注水		拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	拍幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—		
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—		
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	4(2)	4	1	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	—	—	—	—	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	—	1	0	1*1	1*1	ケース 1
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		加圧器圧力	4	4	4	—	—	—	4	0	0	0	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	—	—	—	—	—	ケース 6

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じS9点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				パラメータ分類	補助的なパラメータ分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	推定ケース				
代替 如心 注水 B一充てんポンプ自己冷 却による代替炉心注水 判断 基準	加圧器水位	加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	ケース 1			
		燃料格納容器水位	—	—	—	—	—	サブクーラ度	1	1	0	ケース 6			
		1次冷却材圧力広域	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力広域	2(2)	2	1	ケース 6			
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6		
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3		
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3		
		加圧器水位	—	—	—	—	①	—	加圧器水位	1	1	4	1	ケース 3	
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 3
		格納容器再循環ポンプ水 位(狭域)	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(狭域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 1
燃料格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	燃料格納容器再循環ポンプ水 位(狭域)	原子炉下部キャビティ水 位	—	—	—	—	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	0	1	ケース 1	
		格納容器水位	—	—	—	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	1	ケース 1	
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 2
燃料格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	燃料格納容器再循環ポンプ水 位(狭域)	B一格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	—	—	—	—	—	B一格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	1	ケース 2	
		代替格納容器スプレイボ ンプ出口積算流量	—	—	—	—	—	代替格納容器スプレイボ ンプ出口積算流量	1	1	1	0	1	ケース 2	
燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合		直接	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	B.直流電源を 延命した場合	推奨ケース	
代 替 和 心 注 水	B-1冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		和心出口温度	1	1	0	①	—	3 (全)	0	1*1	ケース 1
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	3 (全)	0	ケース 6
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	3 (全)	0	ケース 6
		原子炉容器水位	1	1	1	1	①	—	3 (全)	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3	3	3	①	—	3 (全)	0	ケース 1
		和心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	3 (全)	0	ケース 1
		加圧器圧力	4	4	0	0	—	—	3 (全)	0	ケース 1
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	3 (全)	0	ケース 1
		サブクール度	1	1	0	0	—	—	3 (全)	0	ケース 6
1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	3 (全)	0	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3 (全)	0	ケース 6		
加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	3 (全)	0	ケース 1		
サブクール度	1	1	0	0	—	—	3 (全)	0	ケース 6		
1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	3 (全)	0	ケース 6		
和心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	3 (全)	0	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3 (全)	0	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3 (全)	0	ケース 6		

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
代替炉心注水 B-1充てんポンプ自己冷却 期による代替炉心注水	操作	燃料取替用水ピット水位					2	1	1	1	ケース 3
		加圧器水位					4	1	1	1	ケース 3
		原子炉容器水位	1	1	0	0		1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サンプ水位(広域)					2	2	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サンプ水位(狭域)					2	2	1	1	ケース 1
		原子炉下部ホールドタンク水位					1	1	0	1	ケース 1
		格納容器水位					1	1	0	1	ケース 1
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1		2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位					2(2)	2	1	1	ケース 2
		B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)					1	1	0	1	ケース 2
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量					1	1	0	1	ケース 2		
格納容器再循環サンプ水位(広域)					2(2)	2	1	1	ケース 2		
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量					1	1	0	1	ケース 2		
B-1充てんポンプ冷却器及び封水冷却器流量					1	1	0	0	—		
B-1充てんポンプ電動機機械冷却水流量					1	1	0	0	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A:直流種を 延命した場合	B:直流種を 延命した場合
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(全)	3(全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3(全)	0	3(全)	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3(全)	0	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		加圧器圧力	—	—	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		サブクーラ度	—	—	—	—	サブクーラ度	1	1	0	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
充てん流量	1	1	0	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	—		
燃料取扱用ホット水位	—	—	—	—	燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	1	1	—		
加圧器水位	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—		
原子炉容器水位	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—		
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合
代替 心如 注水	B-格納容器スプレイポン プ自己冷却(RHRS-CS S)運転ライン使用による代 替炉心注水	格納容器再循環サンプ水 位(実感)	2(2)	2	1	1	—	格納容器再循環サンプ水 位	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	0	1	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1
代 替 注 水	B-格納容器スプレイポン プ自己冷却(RHRS-CS S)運転ライン使用による代 替炉心注水	格納容器水位	1	1	1	0	1	格納容器水位	1	1	0	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
代 替 注 水	B-格納容器スプレイポン プ自己冷却(RHRS-CS S)運転ライン使用による代 替炉心注水	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	1	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	—
代 替 注 水	B-格納容器スプレイポン プ自己冷却(RHRS-CS S)運転ライン使用による代 替炉心注水	代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	1	0	1	代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—
		充てんポンプ操作器表示 (運転状態)	1	1	0	0	—	充てんポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
代 替 注 水	B-格納容器スプレイポン プ自己冷却(RHRS-CS S)運転ライン使用による代 替炉心注水	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		充てんライン圧力	1	1	0	0	—	充てんライン圧力	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替 原子 炉注 水 B-格納容器スプレイポン プ自己冷却(RHRS-CS S)導線ライン使用による代 替炉心注水	操作	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	1	1	0	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	1	1	1	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		加圧器圧力	—	—	—	—	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	1次冷却材圧力(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域-低 範囲)	—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		サブクール度	—	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	2(2)	2	1	1	—
		1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域-高 範囲)	4(2)	4	1	1	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1 次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合	
代替炉心注水	操作	B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	-	-	燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	
								加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	
								原子炉容器水位	1	1	1	1	1	
								格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	
								燃料取扱替用水ピット水位	3(2)	2	1	1	1	
								加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	-	-	原子炉容器水位	1	1	1	1	1
									格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1
									燃料取扱替用水ピット水位	3(2)	2	1	1	1
									加圧器水位	4(2)	4	1	1	1
									原子炉容器水位	1	1	1	1	1
									格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1
格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	-	-	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	1		
							格納容器水位	1	1	0	1	1		
							燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1		
							補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	1		
							B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	1		
							代替格納容器スプレイボンプ出口積算流量	1	1	0	1	1		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合
代替炉心注水	操作	燃料取扱替用水ポンプ水位	2(C)	2	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位(圧力)	2	2	1	1	—
		B-1格納容器スプレイドン プ(自己冷却)(RHRS-CS S送給ライン使用)による代 替炉心注水		1	1	0	—	—	B-1格納容器スプレイド ン量	1	1	0	0	—
		B-1格納容器スプレイドン プ電動補機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	B-1格納容器スプレイド ン 送器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	—
		B-1格納容器スプレイドン 冷却器冷却水流量	1	1	0	0	—	—	B-1格納容器スプレイド ン 運転状態(現場)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種を 延命した場合	B:直流種を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流種を 延命した場合	B:直流種を 延命した場合	
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		加圧器圧力	—	—	—	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	—	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—
		サブクーラ度	—	—	—	—	—	サブクーラ度	1	1	0	0	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
B-格納容器スプレイ流 量	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		燃料取扱用ホット水位	—	—	—	—	—	燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉容器水位	1	1	0	0	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種を 延命した場合 B:直流種を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流種を 延命した場合 B:直流種を 延命した場合		
代替 心 注 水	ディーゼル駆動消火ポンプ又は駆動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水 判断基準	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	燃料取替用水ピット水位	3(2)	2	1	1	—	
			加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	燃料取替用水ピット水位	3(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—
			格納容器再循環ポンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	格納容器再循環ポンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	1
		格納容器再循環ポンプ水位	2(2)	2	1	1	—	原子炉下部キャビタ水位	1	1	0	1	1	—
			格納容器水位	1	1	0	1	—	格納容器水位	1	1	0	1	1
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	—
			補助給水ピット水位	2(2)	2	0	0	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	1
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	1	0	1	—
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	1
		2	2	0	0	—	ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合					
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	ケース 1	
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6	
		原子炉容器水位	1	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 1
		サブクール度	1	1	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0	0	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6
		燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	1	②	—	燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
B-格納容器スレイ流 量	1	1	0	②	—	B-格納容器スレイ流 量	1	1	0	0	1	ケース 3		
原子炉容器水位	1	1	0	②	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 3		
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	②	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 3		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

「---」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合 B:直流種別を 延命した場合		パラメータ 分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBO影響 A:直流種別を 延命した場合 B:直流種別を 延命した場合			
代替 炉心 注水	海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替炉 心注水 判断 基準 等	B-格納容器スプレィ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 1
									加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
									原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
									格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 3
									格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 1
									原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	0	1	ケース 1
									格納容器水位	1	1	1	0	1	ケース 1
									燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 2
									補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 2
									B-格納容器スプレィ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	1	ケース 2
									代替格納容器スプレィが サンプ出口積算流量	1	1	1	0	1	ケース 2

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代 替 如 心 注 水	判 断 基 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	1	1	1	0	—	—	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	1	0	—	—	0	1*1	—
		加圧器圧力	4	4	4	0	—	—	0	0	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	2(2)	2	1	1	—	—	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	0	3 (全)	—
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	1	1	—
		サブクール度	1	1	1	0	—	—	0	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	2	1	—
代 替 格 納 容 器 注 水	判 断 基 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	3 (全)	0	—	
		燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	2	1	—	—	1	1	—
		補助給水ホット水位	2(2)	2	2	1	—	—	1	1	—
		加圧器水位	1	1	1	0	—	—	4	1	—
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—	—	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				パラメータ分類	補助的なパラメータ分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合			B:直流種別を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合	
代替給水ピットを本頭とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	2	1	1	—	
												燃料取替用水ピット水位
		加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	4	1	1	—
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	1	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	3(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—
加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	4	1	1	—		
											加圧器水位	4
原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	1	—		
											原子炉容器水位	1
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—		
											格納容器再循環サブ水位(広域)	2
原子炉下部キャビティ水位	1	1	—	—	—	—	1	0	1	—		
											原子炉下部キャビティ水位	1
格納容器水位	1	1	—	—	—	—	1	0	1	—		
											格納容器水位	1
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—		
											燃料取替用水ピット水位	2
補助給水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—		
											補助給水ピット水位	2
B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—		
											B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	2
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—		
											格納容器再循環サブ水位(広域)	2

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代 替 知 心 注 水	判 断 基 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	1	—	—	1	0	1*1	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	1	—	—	—	0	1*1	ケース 1
		加圧器圧力	4	4	4	—	—	—	0	0	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	2(2)	2	1	1	—	—	3 (全)	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	3 (全)	0	ケース 6
		原子炉容器水位	1	1	1	—	—	—	1	1	ケース 1
		サブクール度	1	1	1	—	—	—	0	0	ケース 6
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	2(2)	1	ケース 6
代 替 格 納 容 器 ス レ イ ン プ 出 口 積 算 量	判 断 基 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	ケース 6	
		燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	2	—	—	2	1	1	ケース 3
		補助給水ホット水位	2(2)	2	2	—	—	2	1	1	ケース 3
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	4(2)	1	ケース 3
		原子炉容器水位	1	1	1	—	—	—	1	1	ケース 3
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	—	—	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

---の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種短延命した場合	B:直流種短延命した場合		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種短延命した場合	B:直流種短延命した場合	
代 替 給 水 注 入 断 水 槽 を 水 源 と し た 可 動 型 大 型 送 水 ポン プ に よ る 代 替 給 水 注 入 判 断 基 準	B-格納容器スプレイ流量	B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—
	燃料取扱替用水ピット水位	燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	2	1	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	4	1	1	1	—
	原子炉容器水位	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	1	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位(A区域)	2(2)	2	1	1	2	1	1	1	—
	燃料取扱替用水ピット水位	燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	2	1	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	4	1	1	1	—
	原子炉容器水位	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	1	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位(A区域)	2(2)	2	1	1	2	1	1	1	—
格納容器再循環ポンプ水位	格納容器再循環ポンプ水位	2(2)	2	1	1	2	1	1	1	—	
	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	1	0	0	0	—	
格納容器水位	格納容器水位	1	1	1	1	1	1	1	1	—	
	燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	2	1	1	1	—	
補助給水ピット水位	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	2	1	1	1	—	
	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	0	1	0	0	0	—	
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0	1	0	0	0	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	
全交流電力 電源喪失事 象と1次冷却 材喪失事象 が同時に発 生した場合 代 理 運 転 A-源圧注 入ポンプ(機 本冷却)に る前注代替 再循環運転	拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	拍幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	拍幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	
	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	M/C主機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 1

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

1*1

1

1

1

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A-直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A-直流電源を 延命した場合	
代 替 系 機 能 運 転	全交流電力 電源喪失事 象と1次冷却 材喪失事象 が同時に発 生した場合	格納容器再循環サン プ水位(広域)	1(0)	1	0	格納容器再循環サン プ水位(広域)	2(2)	2	1	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水 位					1	1	0	ケース 1
判 断 基 準	A-高圧注 入ポンプ(備 水冷却)に上 る高圧代替 系循環運転	A-格納容器再循環サン プ水位(広域)	1(0)	1	0	①	—	2	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	2	2	1	1	ケース 2
		A-高圧注入ポンプ及び 油冷却器機冷却水流 量	2	1	1	③	高圧注入ポンプの運 転状態を確認する パラメータ	—	—	—
		A-高圧注入ポンプ電動 機冷却身水流量	2	1	1	③	高圧注入ポンプの運 転状態を確認する パラメータ	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合		
交代 作 業 運 転 全交流電力 電源喪失事 象と1次冷却 材喪失事象 が同時に発 生した場合 A-高圧注 入ポンプ(高 水冷却)に上 記高圧代替 所備駆動電 源	操作	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	①	—	1	1	0	1*1	3 (全)	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	4(2)	4	1	①	—	1	1	0	1	1	ケース 6
		原子炉容器水位	1	1	1	①	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		サブクール度	1	1	1	①	—	4(2)	4	1	1	1	ケース 1
		1次冷却材圧力(広域)	1	1	1	①	—	1	1	0	0	0	ケース 6
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	①	—	1	1	0	1*1	3 (全)	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 6

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から稼働を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替用機器運転	高圧注入流量	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取扱費用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
格納容器再循環サンプ水位(広域)	高圧注入ポンプ出口圧力	高圧注入ポンプ出口圧力	1	1	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取扱費用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3
格納容器再循環サンプ水位(広域)	高圧注入ポンプ出口圧力	高圧注入ポンプ出口圧力	1	1	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位	2(2)	2	1	1	ケース 1
格納容器再循環サンプ水位(広域)	高圧注入ポンプ出口圧力	高圧注入ポンプ出口圧力	1	1	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	原子炉下部ピット水位	1	1	0	1	ケース 1
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納器水位	1	1	0	1	ケース 1
格納容器再循環サンプ水位(広域)	高圧注入ポンプ出口圧力	高圧注入ポンプ出口圧力	1	1	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	燃料取扱費用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
格納容器再循環サンプ水位(広域)	高圧注入ポンプ出口圧力	高圧注入ポンプ出口圧力	1	1	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	ケース 2
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	代替格納容器スプレイサンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合				
代替 手順 実施 要 配	1次冷却材喪失時に発生する可能性がある原子炉運転中に原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)	原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	
		原子炉補機冷却水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	
		1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	①	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	0(全)	3(全)
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	①	—	—	炉心出口温度	1	1	0
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)	1(1)	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環ポンプ水位(狭域)	2(2)	2	1
		格納容器水位	1	1	1	0	①	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0
		燃料取扱器用水レベル水位	2(2)	2	2	1	①	—	—	燃料取扱器用水レベル水位	2(2)	2	1
		抽助給水レベル水位	2(2)	2	2	1	①	—	—	抽助給水レベル水位	2(2)	2	1
		B-格納容器スレイン処理器出口積算流量(BAM用)	1	1	1	0	①	—	—	代替格納容器スレイン出口積算流量	1	1	0
		A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	2	2	2	1	③	—	—	A-高圧注入ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	2	2	2	1	③	—	—	A-高圧注入ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—		

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合
格納容器隔離弁の閉止	判断基準	圧幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	圧幹線1L, 2Lの受電状態を監視するバロメータ	圧幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するバロメータ	—	4(2)	4	1	1	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するバロメータ	—	—	—	—	—	—
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するバロメータ	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流量を 延命した場合		B:直流量を 延命した場合		
溶融デブリが原子炉容器に残存する際の冷却手順等	判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		格納容器内高レンジエリ アモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	7	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	4(2)	1	1	ケース 6
		C、D-原子炉補機冷却 水冷却器出口補機冷却 水温度	2	2	0	0	②	—	—	2	0	2 * 2	ケース 4
		B-原子炉補機冷却水戻 り出管温度	1	1	0	0	②	—	—	2	0	2 * 2	ケース 4
		格納容器再循環ユニット 入口温度/出口温度	2	0	2 * 2	2 * 2	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 4
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	2	2	0	ケース 1
		格納容器圧力(後域)	2	2	0	2	①	—	—	1	1	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	①	—	—	2(2)	4	1	ケース 6
原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	2(2)	4	1	ケース 1		
格納容器圧力(後域)	2	2	0	2	①	—	—	1	1	0	ケース 1		
格納容器内温度	2(2)	2	2	2	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 6		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
 *2 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合		パラメータ 分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合		
溶融デブリが原子炉圧力容器に残存する場合の冷却手順等	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1	
		原子炉格納容器圧力							格納容器圧力(A/M用)	2	2	0	2	ケース 1	
										格納容器圧力(A/M用)	2	2	0	2	ケース 1
										格納容器圧力(壊域)	1	1	0	0	ケース 1
										格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
										原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
										格納容器圧力(壊域)	1	1	0	0	ケース 1
										格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
										加圧器圧力	4	4	0	0	ケース 1
										1次冷却材温度(壊域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
								1次冷却材温度(壊域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド時低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響			評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A:直流量を 延命した場合			B:直流量を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後		A:直流量を 延命した場合
溶融デブリが原子炉圧力容器に残存する場合の冷却手順等	操作	格納容器再蒸餾サンプ水位(深域)	2(2)	2				1	1	1	1	ケース 1
		原子炉下沸キャビティ水位	1	1				1	0	1	1	ケース 1
		格納容器水位	1	1				1	0	1	1	ケース 1
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2			①	1	1	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	2(2)	2				2	1	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1				1	0	1	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1				1	0	1	1	ケース 2
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2				2	1	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	2(2)	2				2	1	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1				1	0	1	1	ケース 2
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1				1	0	1	1	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合
蒸気発生器2次側 による炉心冷却 (注水) 復動補助給水ポンプ又は タービン駆動補助給水ポンプ による蒸気発生器への注 水 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	3 (全)	1*1	ケース 1	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 3	
	補助給水水位	2(2)	2	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	格納容器圧縮機ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 3	

*1 常用系から故障を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合			B:直流種別を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合		B:直流種別を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	0	1*1	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	0	1*1	0	ケース 1
	蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	12 (全)	3 (全)	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	3 (全)	2 (A,C)	0	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4
	蒸気発生器水位(狭域)	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
	補助給水流量	補助給水ヒット水位	2(2)	2 (全)	—	—	—	2 (全)	1	—	2	1	1	ケース 3
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 3
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	12 (全)	3 (全)	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 3	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電圧を 延命した場合
蒸気発生器2次側水による炉心冷却(注)	判断基準 復動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	前幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	前幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		6-C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	M/C主機 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		脱気器タンク水位	1	1	0	0	—	—	脱気器タンク水位(現場)	1	1	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) SC直接給水用高圧ポンプ による蒸気発生器への注 水 判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	2 (A,C)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	主給水ライン流量	9	9	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水張り流量	1	1	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	補助給水セット水位	2(2)	2	1	1	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
							蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 断水を用いた可換型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	3(全)	—
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	3(全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	—
	補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	補助給水水位	2(2)	2	2	1	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	3(全)	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	補助給水水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パロメータ 分類	補助的なパロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 代替給水ヒットを水源とし た可搬型大型送水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
								補助給水ヒット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 原水槽を水源とした可搬型 大口径水ポンプによる蒸 気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—		
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助給水ヒット水位	2(2)	2	1	1	—	
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
								補助給水ヒット水位	2(2)	2	1	1	1	—
								蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

[] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による 主蒸気逃げし弁による蒸気 放出 判断基準 注:予備でのループの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数	1次冷却材圧力(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	—	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	1次冷却材圧力(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	—	2	1	1	ケース 3
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	—	3 (全)	2 (A,C)	3 (全)	ケース 4
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	—	2	1	1	ケース 4
	1次冷却材圧力(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	①	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
	1次冷却材圧力(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 4
	1次冷却材圧力(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 4
	1次冷却材圧力(狭域)	2(2)	2	1	①	—	—	2	1	1	ケース 4
	1次冷却材圧力(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 1
1次冷却材圧力(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4	
1次冷却材圧力(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 4	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:予備でのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） 主蒸気速がし弁による蒸気放出 判断基準	主給水ライン流量	9	9	0	0	②	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	
		1	1	0	0	②	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	
		2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 3
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	ケース 3
		2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出) ケービンバイパス弁による 蒸気放出 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	主蒸気ライン圧力	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	9	9 (全)	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
主給水ライン流量	9	9 (全)	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
蒸気発生器水取り流量	1	1 (全)	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
蒸気発生器水取り流量	1	1 (全)	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
蒸気発生器水取り流量	1	1 (全)	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
蒸気発生器水取り流量	1	1 (全)	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価	
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合		
蒸気発生器2次側によるタービンバイパス弁による蒸気放出 タービンバイパス弁による炉心冷却(蒸気放出)	判断基準	補助給水流量	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	—	—	—	—	—
		復水器真空(広域)	1	0	0	—	—	—	—	—	—
		圧碎線1L, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—
		6-C1, C2, D母線電圧	3	0	0	—	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(B)	2(A,C)	3(3)	3(全)	2(A,C)	2(B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		6-A, B母線電圧	4(2)	4	0	0	4(2)	4	1	1	—
M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
M/C主機 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命しない場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命しない場合			
蒸気発生器2次側のフューードアンドブリード 判断基準	判 断 基 準	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	—	1	0	1*1	—
		燃料取扱用水位	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	4	1	1	—
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—		
補助給水位	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—		
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
余熱除去ポンプ操作器表(不運転状態)	2	2	—	—	—	—	2	0	—	—		
余熱除去ポンプ電流	2	2	—	—	—	—	2	0	—	—		

*1 常用系から故障を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
 全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				パラメータ分類	補助的なパラメータ分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) タービン駆動補助給水ポンプ又は補助補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3	
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ水位	1	1	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	原子炉容器水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
							格納容器圧縮蒸気ポンプ水位(広域)						

*1 常系系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1 冷却材喪失事象が発生していない場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合		
蒸気発生器 2 次側 による炉心冷却 (注水)	タービン駆動補助給水ポンプ 又は駆動補助給水ポンプ による蒸気発生器への注 水	圧幹線 1L, 2L 電圧	2	2	0	0	0	0	0	0	—
		後志幹線 1L, 2L 電圧	2	2	0	0	0	0	0	0	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	4	0	0	0	4	1	—
		6-A, B, C1, C2, D 母 線電圧	7(2)	7	7	1	1	1	—	—	—
		原子炉 補機冷却水供給 母管流量	5	5	5	0	0	0	—	—	—
		原子炉 補機冷却水冷却 器 補機冷却水流量	8	8	0	4	0	0	0	—	

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) SC直接続水用高圧ポンプ による蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	—
	炉心出口温度	1	1	0	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1
	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0
	炉心出口温度	1	1	0	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	1(B)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	3(全)
	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0
1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	1(B)	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	
補助給水水位	2(2)	2(全)	1(全)	—	補助給水水位	2(2)	2	1	1	
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	
補助給水水位	2(2)	2(全)	1(全)	—	補助給水水位	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 注水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による蒸気発 生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	—	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	—	—	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	1 (B)	—	—	—	12 (全)	3 (全)	—	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	—	3 (全)	0	—	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	—	
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	2	1	—	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	—	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	—	—	
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	—		
補助給水水位	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	2	1	—	—		
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	—	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	2 (A,C)	—	—	—	12 (全)	3 (全)	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラムータ 分類	補助的なパラムータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
代替給水ヒットを水源とし た可搬型大型送水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
								補助給水ヒット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				パラメータ分類	補助的なパラメータ分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合			D:直流種類を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合		D:直流種類を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 原水槽を水源とした可搬型 大口径水ポンプによる蒸 気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
								補助給水ヒット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				パラメータ分類	補助的なパラメータ分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合			
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出) 主蒸気連が1次(2)時手動操作による蒸気放出	1次冷却材温度(広域-高温側)	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	3(全)	ケース1	
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	①	—	炉心出口温度	1	0	0	1*1	ケース1	
	低圧注入流量	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース3	
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース3	
	蒸気発生器水位(広域)	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	1(B)	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース3	
		1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	2(A,C)	①	—	格納容器圧縮器サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース3	
	蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	①	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	ケース1
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	2(A,C)	①	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	0	3(全)	ケース4
	補助給水流量	補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース4
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	①	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	2	1	1
		3(3)	3(全)	2(A,C)	①	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	0	3(全)	ケース4	
		3(3)	3(全)	1(B)	①	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	3	0	ケース4	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	直後	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合				
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)	判断基準	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	余熱除去ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	余熱除去ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	泊幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L異常遮断警報	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却海水系流量	8	8	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を監視するパラメータ	原子炉補機冷却海水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		全:すべてのループの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数											

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	
蒸気発生器2次側のフューードアンド ブリード	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	格納容器圧縮器サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
蒸気発生器2次側のフューード アンド ブリード	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

*1 常系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	パラムータ 分類	補助的なパラムータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	
蒸気発生器2次側のファイアドアードブリード	判断基準	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	—	—	—	—	—	
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	—	—	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	—	—	—	—	—	
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	泊幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L異常遮断警報	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	0	2	—	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量	8	8	0	0	4	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	B.直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	B.直流電源を 延命した場合	
炉心注水 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	3 (全)	0	1*1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	3 (全)	0	1*1	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	ケース 1
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	②	—	サブクール度	1	1	0	ケース 6
		低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
								1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
								炉心出口温度	1	1	0	ケース 4
								燃料取扱用ホットホット水位	2(2)	2	1	1
						加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
						原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
						格納容器再循環サンプホ 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電流を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電流を 延命した場合	B:直流電流を 延命した場合		
炉心注水 亮てんポンプによる炉心注水	操作	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ 操作器 表示(運転状態)	—	—	—	—		
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ 操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—		
		燃料取替用水レベル水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—		
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3	3 (全)	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	サブクーラ度	1	1	0	0	ケース 6	
		—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6	
		—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3	3 (全)	0	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3	3 (全)	0	ケース 6
—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	ケース 6		
—	—	—	—	—	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	ケース 4			

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合	直後	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称					
炉心注水 炉心注水による炉心注水 操作	燃料取扱貯水ピット水位	充てん流量	1	1	0	0	②	—	燃料取扱貯水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器圧縮器サンプ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	格納容器圧縮器サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
燃料取扱貯水ピット水位	燃料取扱貯水ピット水位	格納容器圧縮器サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器圧縮器サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 2
		充てん流量	1	1	0	0	③	—	充てん流量	1	1	0	0	ケース 2
		充てんライン圧力	1	1	0	0	—	充てんポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
炉心注水 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心注水	1	1	0	1*1	②	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	ケース 4
		充てん流量	1	1	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
		充てんライン圧力	1	1	0	0	③	充てんポンプの運転状態を確認するバ ロメータ	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド時低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
運転停止中の場合 (フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器						抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器					評価									
		計器数 ()内はPAM	直接	A.直流種別を 延命した場合	B.直流種別を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	A.直流種別を 延命した場合	B.直流種別を 延命した場合										
炉心注水 高圧注入ポンプによる炉心注水 操作	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1										
		3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1										
		3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1										
	炉心注水 高圧注入ポンプによる炉心注水 操作	加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1									
			4(2)	4	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1									
			4(2)	4	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6									
炉心注水 高圧注入ポンプによる炉心注水 操作	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6										
		2	2	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6										
		2	2	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6										
																余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	0	ケース 4

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から故障を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合			
炉心注水	高圧注入ポンプによる炉心 操作	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	ケース 3	
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3
高圧注水	高圧注入ポンプによる炉心 操作	格納容器内循環ポンプ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3
		格納容器内循環ポンプ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 2
		高圧注入流量	2	2	1	1	①	—	—	—	—	ケース 2
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A:直流種別を 延命した場合 B:直流種別を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A:直流種別を 延命した場合 B:直流種別を 延命した場合			
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	1	1	1	0	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	2	2	0	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却系統ループ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	4(2)	1	1	—
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	2	0	—	—	2	2	0	—
高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	2	0	—	—	2	2	0	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流種類を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流種類を 延命した場合		
代 替 如 心 注 水	操 作	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	1	—	—	—	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	—	—	—	1	1	0	1*1	—
		原子炉容器水位	4(2)	—	—	—	—	—	—	—	—
		サブクール度	1	—	—	—	1	1	0	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	—	—	—	—	—	2	1	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	—	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	—	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	—	—	—	—	—	3 (全)	0	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	—	—	—	—	—	2	0	0
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	—	—	—	—	—	2	1	—
		加圧器水位	4(2)	—	—	—	—	—	4	1	—
		原子炉容器水位	1	—	—	—	—	—	1	1	—
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	—	—	—	—	—	2	1	—		
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	—	—	—	—	—	2	1	—		
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	—	—	—	—	—	2	1	—		
低圧注入流量	2(2)	—	—	—	—	—	2	1	—		

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合				
代替 炉心 注水 B-格納容器スプレイトン フ(RHRS-CSS)運転ライン 使用)による代替炉心注水 判断 基準		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1		
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 1
		炉心出口温度	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1	
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	②	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	②	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	0	ケース 4

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		
					A:直流種別を 延命した場合	B:直流種別を 延命した場合				A:直流種別を 延命した場合	B:直流種別を 延命した場合	
代替 知 心 注 水	判断基準	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	2	2	0	0	格納容器中置器サンプ水位 (広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合		
代替格納容器スプレイングによる代替炉心注水	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		1次冷却材系統ループ水位	2	2	0	②	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	ケース 4	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合
代替炉心注水 判断基準 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水	判断基準	燃料取替用水ピット水位						燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	ケース 3
		B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	②	加圧器水位	4(2)	4	1	ケース 3
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	①	原子炉容器水位	1	1	1	ケース 3
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	
代替 炉心 注水 電動機駆動消火ポンプ又は ターミネーゼル駆動消火ポンプ による代替炉心注水 判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	1	1	0	1*1	—	
	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	原子炉容器水位	4(2)	4	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	
	加圧器水位	2	2	0	0	—	サブクール度	1	1	0	0	—	
	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	
	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0	—
燃料取扱用ホット水位	3(2)	3	2	1	—	燃料取扱用ホット水位	3(2)	3	2	1	1	—	
補助給水ポンプ水位	2(2)	2	2	1	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	2	1	1	—	
加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1	—	
原子炉容器水位	1	1	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—	
格納容器再循環ポンプ水位(広域)	3(2)	3	2	1	—	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	3(2)	3	2	1	1	—	
ろ過タンク水位	2	2	2	0	—	ろ過タンク水位	2	2	2	0	0	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
代替 原子 炉注水 断水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替炉 心注水 断水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替炉 心注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	②	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
		代群格納容器スプレィ ンク出口積算流量	1	1	1	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
		燃料取扱用ホットホット 水位	2(2)	2	2	0			1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0			1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	0			1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	0			余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	ケース 4
代群格納容器スプレィ ンク出口積算流量	1	1	1	1	①	—	燃料取扱用ホットホット水 位	2(2)	2	2	1	ケース 3		
代群格納容器スプレィ ンク出口積算流量	1	1	1	1	①	—	補助給水ピント水位	2(2)	2	2	1	ケース 3		
代群格納容器スプレィ ンク出口積算流量	1	1	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	ケース 3		
代群格納容器スプレィ ンク出口積算流量	1	1	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3		
代群格納容器スプレィ ンク出口積算流量	1	1	1	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	ケース 3		

*1 常用系から設備を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		原子炉容器水位	4(2)	4	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		加圧器水位	—	—	—	—	—	加圧器水位	—	—	—	—	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—
		燃料取扱用ホットホット水位	3(2)	3	2	2	—	燃料取扱用ホットホット水位	3(2)	3	2	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—

*1 常用系から稼働を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
代替 原子 炉注 水 原水 槽を 水源 とした 可搬型 大型 送水 ポンプ 車による 代替 原子 炉注 水 判断 基準		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	1	0	1*1	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレィ ポンプ出口積算流量	1	1	1	0	1	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取扱用ホットホット 水位	3(2)	3	2	2	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	3(2)	3	2	1	1

*1 常用系から稼働を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	計器数	直値	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合			
高圧注入ポンプによる高圧 再循環運転 再循環運転	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		加圧器水位	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	
高圧注入ポンプによる高圧 再循環運転	判断 基準	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水 位	—	—	—	—	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	ケース 1	
		格納容器水位	—	—	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1	
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	—	—	—	—	—	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	ケース 2	
		代君格納容器スプレイボ ンプ出口積算流量	—	—	—	—	—	代君格納容器スプレイボ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2	
		全・すべてのループの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
停 機 運 転	判 断 基 準	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	
		高圧注入ポンプによる高圧 再循環運転	余熱除去ポンプ出口圧力	1	1	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕 の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合				
代替用監視要項 B-1格納容器スプレッドポンプ(RIMS-CSS)運転ライン 使用による代替用監視要項	判断基準	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		高圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		B-1格納容器再循環サン プ水位(広域)	1(1)	1	0	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	格納容器再循環サン プ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	格納容器再循環サン プ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	0	1	ケース 1
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	格納容器水位	1	1	0	0	1	ケース 1

*1 常用系からデータを変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
	余熱除去ポンプ出口圧力	1	1	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 (不運転状態)	—	—	—	—	—
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 (不運転状態)	—	—	—	—	—
	格納容器圧縮蒸気ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	①	—	格納容器圧縮蒸気ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
	格納容器圧縮蒸気ポンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	①	—	格納容器圧縮蒸気ポンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
	格納容器圧縮蒸気ポンプ水位(中間)	2(2)	2	1	①	—	格納容器圧縮蒸気ポンプ水位(中間)	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常系系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	—	1	0	1*1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—		
補助給水位	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	2 (全)	1 (全)	1 (全)	—		
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合
蒸気発生器2次側水による炉心冷却（注）	判断基準 運動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	前幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	前幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1
		6-C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		脱気器タンク水位	1	1	0	0	—	—	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） SC直接給水用高圧ポンプ による蒸気発生器への注水	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	1	1 (全)	0	—	—	1	1 (全)	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1 (全)	0	—	—	—	1	1 (全)	0	1*1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	2(2)	2 (全)	1	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		主給水ライン流量	9	9 (全)	9	0	—	—	9	9 (全)	12 (全)	3 (全)	—
蒸気発生器水張り流量	1	1 (全)	1	0	—	—	1	1 (全)	12 (全)	3 (全)	—		
補助給水レベル	2(2)	2 (全)	2	1	1	—	2(2)	2 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から故障を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 注水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による蒸気発 生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	1 (B)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
補助給水位	2(2)	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				補助的なバロメータ 分類理由	バロメータ 分類	抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 代替給水ヒットを水源とし た可搬型大型送水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	—	
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	12(6)	12 (全)	12 (全)	3 (A,C)	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (A,C)	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	2 (全)	—	—	—	2 (全)	1	1	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	0	—		
補助給水ヒット水位	2(2)	2 (全)	2 (全)	—	—	—	2 (全)	1	1	1	—		
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	1	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	12 (全)	3 (A,C)	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 原水槽を水源とした可搬型 大口径水の1車による蒸 気発生器への注水 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
								蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
								補助給水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合		
蒸気発生器 2 次側による蒸気 放出 主蒸気速がし弁による蒸気 放出 判断基準 注：予べでのループの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	格納容器相層サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	1次冷却材圧力(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	①	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
	1次冷却材圧力(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	ケース 4
	1次冷却材圧力(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	①	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
	1次冷却材圧力(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 4
							蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 1
							1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	ケース 4
							1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合 B:直流種別を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合 B:直流種別を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） 主蒸気速がし弁による蒸気放出 判断基準	主給水ライン流量	9	9	0	0	②	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水張り流量	1	1	0	0	②	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	推定ケース			
蒸気発生器2次側による タービン/バイパス弁による 蒸気放出 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲) 炉心出口温度 1次冷却材温度(広域-高 範囲) 炉心出口温度 1次冷却材温度(広域-低 範囲) 1次冷却材温度(広域-高 範囲) 蒸気発生器水位(狭域) 1次冷却材温度(広域-低 範囲) 1次冷却材温度(広域-高 範囲) 蒸気発生器水位(狭域)	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—		
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	—	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） タービンバイパス弁による 蒸気放出 判断基準	主給水ライン流量	9	9	0	0	—	—	—	—	—
		3(3)	3(3)	3(全)	1(B) 2(A,C)	—	—	—	—	—
	補助給水流量	3(3)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	—	—	—
	蒸気発生器水取り流量	1	1	1	0	—	—	—	—	—
	復水器真空(広域)	1	1	1	0	—	—	—	—	—
	拍幹線1L, 2L電圧	2	2	2	0	—	—	—	—	—
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	2	0	—	—	—	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	4	0	—	—	—	—	—
	6-C1, C2, D母線電圧	3	3	3	0	—	—	—	—	—
	計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータを計測する計器	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器	評価	
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	1(全)	—	—	—	—		
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	—	—	—		
補助給水ヒート水位	2(2)	2(全)	1(全)	—	—	—	—	—		
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	—	—	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	—	—	—	—	—		
蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12(全)	3(全)	—	—	—	—	—		
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	—	—	—		
拍幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終延滞警報	—	—	—	—	—	—	—	—		
6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	—	—	—	—	—		
M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	—	—	—		
M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			
蒸気発生器2次側のフューードアンド ブリード	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	0	—	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	2 (B)	1 (B)	—		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	—		
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—		

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
蒸気発生器2次側のフィードアヘッド ブリード	判断基準	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピット水位	3(2)	2	1	1	—
		蒸気発生器水位	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位(圧減)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	—	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直後直観を 延命した場合	B:直後直観を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直後直観を 延命した場合	B:直後直観を 延命した場合					
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	2	2	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	4(2)	4	1	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		加圧器水位	2	2	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6	
		加圧器水位	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	0	ケース 4
		加圧器水位	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	0	ケース 1
		加圧器水位	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	燃料取扱用ボルト水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
		加圧器水位	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	ケース 3

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	
代替格納罐スプレッドによる代替炉心注水	判断基準	圧幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	圧幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	圧幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—		
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—		
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	4(2)	4	1	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量	8	8	0	③	原子炉補機冷却母管系の運転状態を確	—	—	—	—	—	—	
		燃料取替用水レベル	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—		
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		炉心出口温度	1	1	1	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		代替格納容器スプレイボ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	抽助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
									原子炉容器水位	1	1	1	1	—
									格納容器再循環サンプ水 位(広域)	3(2)	2	1	1	—
									—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（サポート系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	D:直流種類を 延命した場合		パラメータ 分類	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合		D:直流種類を 延命した場合	
代替 炉心 注水	判断基準 B-充てんポンプ自己冷 却による代替炉心注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
							余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	ケース 4	

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器										評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			評価		
				直接	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合	直接			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
代替 知 心 注 水	判 断 基 準	代替格納容器スプレイボ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	—	—	—	—	—		
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—		
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		抽助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3	
		原子が容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3	
		格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替 原子 炉注水 B-格納容器スプレイドン プ(自己冷却)RRRS-CSS 注水ポンプの使用による代替 原子注水		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	加圧器水位	1	1	1	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	—
		充てん流量	1	1	0	0	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		充てん圧力	1	1	0	0	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取替用水レベル	2(2)	2	1	1	—	余熱除去ループ出口圧力	2	2	2	0	0	—
								燃料取替用水レベル	3(2)	3(2)	2	1	1	—
								原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—
								加圧器水位	4(2)	4(2)	4	1	1	—
							格納容器再循環サンプ水 位(広域)	3(2)	3(2)	2	1	1	—	
							充てんポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	—	
							燃料取替用水レベル	2(2)	2(2)	2	1	1	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直値	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
代替 心注水 ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる代替心注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	加圧器水位	1	1	1	0	—	
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		燃料取扱用ボット水位	—	—	—	—	—	燃料取扱用ボット水位	2(2)	2	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	—
		余熱除去ボンプ出口圧力	—	—	—	—	—	余熱除去ボンプ出口圧力	2	2	2	0	0	—
		サンプル度	1	1	1	1	—	サンプル度	1	1	1	0	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	2	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
代替 炉心 注水	ディーゼル駆動消火ポン プ又は電動機駆動消火ポ ンプによる代替炉心注水	第一格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	燃料取扱用注水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器隔離サンプ水位 (圧減)	4(2) 1 2(2)	4 1 2	1 1 1	1 1 1	— — —

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				補助的なバロメータ 分類理由	バロメータ 分類	抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流種別を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流種別を 延命した場合	B.直流種別を 延命した場合				
代 替 如 心 注 水	判 断 基 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3 (全)	0	3(3)	3 (全)	3 (全)	ケース 1		
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	①	—	3 (全)	0	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	1	1	0	②	—	1*1	0	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		炉心出口温度	4(2)	4	1	①	—	1	1	1	1	1	1	1	ケース 1
		加圧器水位	2	2	0	②	—	0	0	2	2	2	0	ケース 4	
		1次冷却系統ループ水位	1	1	0	②	—	0	0	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6	
		B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	②	—	0	0	2(2)	2	2	1	1	ケース 3
		燃料取扱用ボット水位	3(2)	3	1	①	—	1	1	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6
		原子炉容器水位	4(2)	4	1	①	—	1	1	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6
		加圧器水位	2(2)	2	2	②	—	2	2	2	2	2	0	0	ケース 4
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	3(3)	3	1	②	—	1	1	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
代替 冷却 心注水	判 新 基 準 沸水を用いた可融型大型 送水ポンプ車による代替炉 心注水	計器名称	1	1	0	1		燃料取扱用ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		計器名称	1	1	0	1	①		加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
		計器名称	1	1	0	1			原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		計器名称	1	1	0	1			格納容器可溶酸サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	炉心出口温度	2	2	2	0	—
		代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	0	1	—	燃料取扱用ホット水位	3(2)	2	2	1	1
		代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	0	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	1
代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	0	1	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1		
代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	0	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1		
代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	0	1	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1		

*1 常用品系から設備を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合
代替炉心注水	判断基準	1	1	0	0	—		燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	0	—		原子炉容器水位 加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		1	1	0	0	—		格納容器圧縮器サブ水 位(圧減)	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—		燃料取扱替用水ピット水位 加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		1	1	0	1	—		原子炉容器水位 格納容器圧縮器サブ水 位(圧減)	2(2)	2	1	1	—

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合
代替 原子 炉 注 水 原水 槽を 水 源 と し た 可 動 型 大 型 送 水 ポ ンプ 車 に よ る 代 替 原 子 炉 注 水 判 断 基 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	1	1	0	1*1	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	サブクール度	1	1	0	0	—
	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1
	代替格納容器スプレィ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	燃料取扱用ホット水位	—	—	—	—	—	余熱除去ホップ出口圧力	2	2	2	0	—
	補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	燃料取扱用ホット水位	3(2)	2	2	1	1
	加圧器水位	1	1	1	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	1
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1
格納容器再循環サンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	
格納容器再循環サンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	

*1 常用系から稼働を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBC影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	
代替 炉心 注水	原水槽を水源とした可搬型 大型送水ポンプ車による代 替炉心注水	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
			B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	原子炉容器水位 加圧器水位	4(2)	4	1	1
	判断 基準							格納容器内循環ポンプ水 位(圧域)	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
								原子炉容器水位	1	1	1	1	—
								格納容器内循環ポンプ水 位(圧域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合				
運転停止中 において全 交流動力重 断喪失が發 生した場合 に於いて A-高圧注 入ポンプ(海 水冷却水)上 の高圧代替 計器類運転 に伴って 代替 計器 類 運 転	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		格納容器再循環サンプ 水位(広域)	1(1)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0			原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	0	1	ケース 1
		格納容器水位	1	1	0			格納容器水位	1	1	0	0	1	ケース 1
		燃料取扱器用水ピット水位	1(1)	1	1	①	—	燃料取扱器用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2			補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイン冷 却器出口種別流量(PAM 用)	1	1	0			B-格納容器スプレイン冷 却器出口種別流量(PAM 用)	1	1	0	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイン サンプ出口積算流量	1	1	0			代替格納容器スプレイン サンプ出口積算流量	1	1	0	0	1	ケース 2

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ3S9点を連続監視可能

全、すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電流を 延命した場合	B:直流電流を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	計器名称	直値	SBO影響 A:直流電流を 延命した場合	
代替 運転 停止中 において全 交流動力電 源喪失事象 が発生した 場合	判断 基準	A-高圧注入ポンプ及び 油冷却器補機冷却水流量	2	1	1	③	高圧注入ポンプの パラメータ	A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—
		A-高圧注入ポンプ電動 機補機冷却水流量	2	1	1	③	高圧注入ポンプの パラメータ	A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—
		泊幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	泊幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L異常遮断警報	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	1	1	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		評価			
運転停止中 において原 子炉補機冷 却機能喪失 事象が発生 した場合	代替再 循環 運転	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	1(1)	1	0	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	②	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	ケース 1	
		格納容器水位	1	1	0	①	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1	
		燃料取扱器用水レベル水位	1(1)	1	0	①	—	燃料取扱器用水レベル水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		補助給水レベル水位	2	2	1	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	A-高圧注入ポンプ及び 油冷却器補機冷却水流量	2	2	1	1	1	ケース 2
		A-高圧注入ポンプ電動 機補機冷却水流量	2	2	1	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	A-高圧注入ポンプ電動 機補機冷却水流量	5	5	0	2	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水供給 母管流量	8	8	0	4	—	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

「---」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	D:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	D:直流電圧を 延命した場合
蒸気発生器2次側 タービン駆動補助給水ポンプ 又は補助補助給水ポンプ による蒸気発生器への注 水 判断基準 低圧注入流量	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	3 (全)	0	1*1	ケース 1	
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ水位	4(2)	4	4	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 3	
							格納容器圧縮蒸気ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 3	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常系系から事故を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) タービン駆動補助給水ポンプ 又は駆動補助給水ポンプ による蒸気発生器への注水	判断基準	母線電圧, 2L電圧	2	2	0	③	和動線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	和動線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—		
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ		—	—	—	—		
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ		6—A, B母線電圧	4(2)	4	1	—	
		6—A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ		M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ		M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却器水流量	8	8	0	③	原子炉補機冷却器水系の運転状態を 確認するパラメータ		原子炉補機冷却器水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種完全 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流種完全 延命した場合			
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) SC直接続水用高圧ポンプ による蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
						1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	—
						1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
						1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
						蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	2 (A,C)	1 (B)	—
						1次冷却材温度(広域-低 温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
						1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
						補助給水水位	2(2)	2	2 (全)	1 (全)	1 (全)	—
					蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	2 (A,C)	1 (B)	
					補助給水流量	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
					補助給水水位	2(2)	2	1	1	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流通過を 延命した場合	B.直流通過を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流通過を 延命した場合	B.直流通過を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 断 基 準 断水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	炉心出口温度	1	1	0	—	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	炉心出口温度	1	1	0	—	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	2(2)	2	1	1	—
	補助給水水位	2(2)	2	—	—	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 代替給水ヒットを水源とし た可搬型大型送水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	1	1	0	1*1	—	
	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	補助給水流速	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
	補助給水ヒット水位	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合			B:直流種別を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流種別を 延命した場合		B:直流種別を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 原水槽を水源とした可搬型 大口径水の1/2単による蒸 気発生器への注水	判断 基準 準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	1	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	—
		炉心出口温度	1	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1	1 (B)	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		補助給水流重	3(3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	—	—	補助給水圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
									補助給水レベル	2(2)	2	1	1	1	—
									蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1	1 (B)	—
									蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合		パラメータ 分類	計器数	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出) 主蒸気連がし弁(即時手動 操作)による蒸気放出 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	炉心出口温度	1	3 (全)	0	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	—	—	—	ケース 1
	炉心出口温度	1	3 (全)	0	①	—	—	—	—	—	ケース 1
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	ケース 3
	加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	—	—	—	—	ケース 3
	原子炉容器水位	1	1	1	①	—	—	—	—	—	ケース 3
	格納容器種別蒸気サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	ケース 3
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3	3 (全)	①	—	—	—	—	—	ケース 1
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	—	—	—	ケース 4
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	—	—	—	ケース 4	
1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	ケース 4	
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	1 (B)	①	—	—	—	—	—	ケース 1	
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	—	—	—	—	ケース 4	
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	—	—	—	ケース 4	
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	—	—	—	ケース 4	
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	13 (全)	①	—	—	—	—	—	ケース 3	
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	—	—	—	—	ケース 3	
補助給水量	3(2)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	—	—	—	—	ケース 3	

*1 常系から稼働を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)	判断基準	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	—	—	—	—
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	泊幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L異常遮断警報	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却海水流量	8	8	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却海水流量	8	8	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却海水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合				
蒸気発生器2次側のフューズブレイク ブリード	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—		
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	3 (全)	3	0	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	—	3	3	3	0	—
		炉心出口温度	1	1	1	1*1	—	—	3	3	0	3	—
		燃料取扱用水レベル	—	—	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		加圧器水位	2(2)	2	1	1	—	—	4	4	1	1	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	—	2	2	1	1	—
蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(広域)	—	—	—	—	—	3	3	2	1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3	3	0	3	—	
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	—	3	3	3	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	2	2	1	1	—
蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	12	12	3	3	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	—	—	—	—	—	3	3	0	3	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

*1 常用品から換装を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合	B:直流種類を 延命した場合						
蒸気発生器2次側のフューードアンド ブリード 判断基準		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3(2)	2	1	1	—		
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流種類を 延命した場合 B:直流種類を 延命した場合		
原子炉格納容器内の作業員退避させる手順等	判断基準	SRP停止時中性子束高 (N31)警報	—	—	—	—	—	—	—	—	
		SRP停止時中性子束高 (N32)警報	—	—	—	—	—	—	—	—	
		中性子源領域中性子束	2(2)	2 (全)	1 (全)	1 (全)	2	2(2)	2	1	1
		中性子源領域出動率	2	2	0	0	2	2(2)	2	1	1
		1次系純水補給ライン流 量制御	1	1	0	0	2	2	2	1	1
		1次系純水補給ライン流 量積算制御	1	1	0	0	2	2(2)	2	1	1
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	4	4	3 (全)	0	0
		加圧器圧力	4	4	0	0	4	4	4	0	0
		1次冷却材温度(広域・高 温側)	3(3)	3	1	1	3	3(3)	3 (全)	3 (全)	0
		1次冷却材温度(広域・低 温側)	3(3)	3	1	1	3	3(3)	3 (全)	0	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
原子炉格納容器内の作業員退避させる手順等	判断基準	加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(機械)	2(2)	2	1	1	
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	(全)	3	0
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	(全)	3	0
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	(全)	3	0
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	0
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	燃料喪失用水レベル水位	2(2)	2	1	1	1
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	1
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(機械)	2(2)	2	1	1	1
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	1
格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	0	2		
原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	0	2		
原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(機械)	1	1	1	0	0		
原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	1		
格納容器圧力(AM用)	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	1		
格納容器圧力(AM用)	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(機械)	1	1	1	0	0		
格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	1		
格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	1		
格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	0	2		
格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	1		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合		
原子炉格納容器内の作業員退避させる手順等	判断基準	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	0	1	1	1	—
		格納容器ガスモニタ	1	0 *1	0	0	0	2	1	1	—
		格納容器しんがいモニタ	1	0 *1	0	0	0	2	1	1	—
		エアロックエアモニタ	1	1	1	0	0	2	1	1	—
		炉内核計装区域エアモニタ	1	1	1	0	0	2	1	1	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	2	0	0	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	5	0	2	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水処理器補機冷却水流量	8	8	8	0	4	—	—	—	—
		格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)	3(2)	3	2	1	1	0	1	1	—
		エアロックエアモニタ	1	1	1	0	0	0	0	0	—
		炉内核計装区域エアモニタ	1	1	1	0	0	0	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 試料採取に必要なサンプル電源の喪失のため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合
原子 炉 格 納 容 器 内 の 作 業 員 退 避 さ せ る 手 順 等	判 断 基 準	圧幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	圧幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	圧幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	6—A, B母線電圧	4(2)	4	1	1
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	M/C母線電圧低警報 M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—
		6—A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0
		格納容器サンプ水位	2	2	1	0	③	原子炉格納容器内の補えい状態を確 認するパラメータ	格納容器サンプ水位	2	2	1	0
		格納容器サンプ水位上昇	2	2	1	0	③	原子炉格納容器内の補えい状態を確 認するパラメータ	格納容器サンプ水位	2	2	1	0
		格納容器サンプ水位上昇	2	2	1	0	③	原子炉格納容器内の補えい状態を確 認するパラメータ	格納容器サンプ水位	2	2	1	0

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		評価		
				直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合			
蒸気発生器 冷却 (注水による)	判断 基準	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水センサ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却 器抽機冷却母管流量	8	0	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却水セン サ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
		補助給水ベント水位	2(2)	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	B直流電源交 差命じた場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 電動主給水ポンプによる 蒸気発生器への注水 判断基準 蒸気発生器水位(広域)	油幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	
	6-C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	1 (B)
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0
	補助給水ピット水位	1	1	0	0	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	1
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	1 (B)
	脱気器タンク水位	1	1	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源交 差命じた場合	B:直流電源交 差命じた場合	計器数 ()内はPAM	直後	A:直流電源交 差命じた場合	B:直流電源交 差命じた場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) SC0直接給水用高圧ボ ンプによる蒸気発生器への 注水	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	—	—
		12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	蒸気発生器水位(狭域)	9	9	0	0	—	—	—	—	—
		1	1	0	0	—	—	—	—	—
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	主給水ライン 流量	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	蒸気発生器水張り流量	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	
	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合				
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 滞水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	判断基準	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	—	2	1	1	—
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	判断基準	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	判断基準	補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	2	1	1	—	
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	判断基準	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合				
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 代替給水ピットを水源とし た可搬型大型送水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	—	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	補助給水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	炉心出口温度	1	1	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—
	炉心出口温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 原水槽を水源とした可換 型大型送水ポンプ車によ る蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	SBO影響 B.直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合
蒸気発生器 冷却器 (蒸気発生器側による 放熱)	判断基準	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	2	—	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器抽機冷却水流量	8	0	4	—	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

[] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バックアップ 電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） タービンバイパス弁による 蒸気放出 判断基準	油幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—
	後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	4(2)	4	1	1	—
	6—C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	—	—	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
復水器真空(広域)	1	1	0	0	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		推定ケース					
				A流流絶源を 延命した場合	B流流絶源を 延命した場合				A流流絶源を 延命した場合	B流流絶源を 延命した場合						
蒸気発生機2次側による炉心冷却へ蒸気放出) 主蒸気連がし炉(理)操作 動機作による主蒸気連が し炉の稼働回復 判断基準		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	①	—	計器数 ()内はPAM	4	4	0	0	推定ケース ケース 1	
		1次冷却材圧力(広域-高 温側)										3(3)	3	3	0	推定ケース ケース 6
		1次冷却材圧力(広域-低 温側)										3(3)	3	0	3	推定ケース ケース 6 (全)
		原子炉格納容器水位										1	1	1	1	推定ケース ケース 1
		サブクール度										1	1	0	0	推定ケース ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)										2(2)	2	1	1	推定ケース ケース 6
		1次冷却材圧力(広域-高 温側)										3(3)	3	3	0	推定ケース ケース 6 (全)
		原子炉格納容器圧力										4(2)	4	1	1	推定ケース ケース 6
		格納容器内温度										2(2)	2	2	0	推定ケース ケース 6
		原子炉格納容器圧力										4(2)	4	1	1	推定ケース ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)										2	2	0	0	推定ケース ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)										2	2	0	0	推定ケース ケース 1
		格納容器圧力(狭域)										1	1	0	0	推定ケース ケース 1
格納容器内温度										2(2)	2	1	1	推定ケース ケース 6		
原子炉格納容器圧力										4(2)	4	1	1	推定ケース ケース 1		
格納容器圧力(狭域)										1	1	0	0	推定ケース ケース 1		
格納容器内温度										2(2)	2	1	1	推定ケース ケース 6		
格納容器再循環サンプ水 位(広域)										2(2)	2	1	1	推定ケース ケース 1		
1次冷却材圧力(広域-低 温側)										3(3)	3	0	0	推定ケース ケース 6 (全)		
1次冷却材圧力(広域-高 温側)										3(3)	3	3	0	推定ケース ケース 6 (全)		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源交 差命じた場合 B:直流電源交 差命じた場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源交 差命じた場合 B:直流電源交 差命じた場合			
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出) 蒸気発生器1次側(炉内)手動操作による蒸気発生が炉心の機能回復	蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 補助給水流量 拍幹線1L, 2L電圧 後志幹線1L, 2L電圧 甲母線電圧、乙母線電圧 6-A, B, C1, C2, D母線電圧 制御用空気圧力 原子炉補機冷却水供給母管流量 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量											
				3 (全)	1 (B)							
				3(3)		2 (A,C)						
				12 (全)	3 (全)							
				3(3)		1 (B)						
				2	0							
				2	0							
				4	0							
				7(2)	1							
				2(2)	1							
		5	0									
		8	0									

全:すべてのループの器の台数
A(B,C):当該ループの器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	抽出パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器 2 次側 による 知 心 冷 却 (蒸 気 放 出) 主蒸気逃がし弁操作作用可 確認空気ポンプによる主 蒸気逃がし弁の機能回復 判 断 基 準	制御用空気圧力	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	2(2)	2	1	1
	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
	補助給水水位	2(2)	2	—	—	—	2(2)	2	1	1
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	
可搬型大型送水ポンプ車 を用いたA-側用空気 圧縮機(海水冷却)による 主蒸気速がし弁の機能回 復 蒸気発生器2次側による 知心冷却(蒸気放出)	制御用空気圧力	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(蒸気)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)
	蒸気発生器水位(蒸気)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	2(2)	2 (全)	1	1
	補助給水圧力	2(2)	2	1	—	—	2(2)	2 (全)	1	1
	蒸気発生器水位(蒸気)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)
	蒸気発生器水位(蒸気)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(蒸気)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0
	蒸気発生器水位(蒸気)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	2(2)	2 (全)	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	温度電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	温度電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側のフューードアン ドブリード 判断基準	原子炉補給冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—	
	原子炉補給冷却水冷却 器補給冷却母管流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0 (全)	3 (全)	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3 (全)	0 (全)	1*1	
	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	0 (全)	3 (全)	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	3 (全)	0 (全)	3 (全)	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	3 (全)	0 (全)	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を直流電源計可

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合			
蒸気発生器2次側のフイードアン ドブロード 操作	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		
				直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合	
格納容器内自然対流冷却	可稼型大型蒸水を用いたC、D-格納容器再蒸発ユニットによる格納容器内自然対流冷却	原子炉補機冷却水供給母管流量	5	0	2	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器抽機冷却母管流量	8	0	4	原子炉補機冷却母管流量を確保するパラメータ	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

[] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	直流電源を 延命した場合	ハラムータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A.直流電源を 延命した場合
代替 補機 冷却	判断 基準	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却海水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
	操作	A-高圧注入ポンプ電動 機補機冷却水流量	2	2	1	1	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—
		A-高圧注入ポンプ及び 油冷却器補機冷却水流 量	2	2	1	1	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—
代替 補機 冷却	判断 基準	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	8	0	4	—	—	原子炉補機冷却海水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
	操作	A-制御用空気圧縮機補 機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	A-制御用空気圧縮機操 作器表示(運転状態)	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		評価		
				直後	A相流絶源を 延命した場合					直後	A相流絶源を 延命した場合			
可 搬型 大 容 量 代 海 水 送 水 機 を 用 いた 代 替 心 冷 却 機 による	判 断 基 準	原子炉補機冷却水冷却器 補機冷却器水流量	8	0	4	—	—	原子炉補機冷却器水流量 予操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		原子炉補機冷却水冷却器 補機冷却器水流量	8	0	4	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サブポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響			
				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
タービン駆動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	計器名称	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合	計器名称	計器数()内はPAM	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合	評価	
		油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4(2)	4	—	—	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	1	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	
		蒸気発生器水位(低域)	12(6)	3(全)	3(全)	—	3(3)	3	3(全)	2(A,C)	1(B)	ケース 1
		蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3(全)	3(全)	—	3(3)	3	3(全)	0	3(全)	ケース 4
		蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3(全)	3(全)	—	3(3)	3	3(全)	3(全)	0	ケース 4
		蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3(全)	3(全)	—	3(3)	3	3(全)	3(全)	3(全)	ケース 1
		蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3(全)	3(全)	—	3(3)	3	3(全)	3(全)	3(全)	ケース 4
		蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3(全)	3(全)	—	3(3)	3	3(全)	3(全)	3(全)	ケース 4
補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	3(3)	3	3(全)	0	ケース 4		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	2(2)	2	2	1	ケース 4		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	2(2)	2	2	1	ケース 3		
補助給水ピット水位	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	3(3)	3	3(全)	2(A,C)	1(B)	ケース 3	
補助給水ピット水位	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	—	3(3)	3	3(全)	3(全)	3(全)	ケース 3	
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	2(2)	2	—	—	—		

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） SC0直接給水用高圧ボンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	蒸気発生器水位(鉄域)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	—	—	—	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(鉄域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)
		蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)
		1次冷却材温度(鉄域-低)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)
		1次冷却材温度(鉄域-高)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)
		1次冷却材圧力(鉄域)	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 断基群 断水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)
		補助結水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	2 (2)	1 (1)	1次冷却材圧力(狭域)	2(2)	2 (全)	1	1	—
		補助結水ピット水位	3(2)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	2 (2)	1 (1)	補助結水ピット水位	3(2)	2 (全)	1	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サブオート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
蒸気発生器 2 次側 による 炉心 冷却 (注水) 代替給水じぶを水源とし た可搬型大流量ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	—	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	2(2)	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	—	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		補助給水ポンプ水位	2(2)	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
			12(6)	12 (全)	—	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
			蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サブオート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器 2 次側 による 炉心 冷却 (注水) 原水槽を水源とした可搬 型大型送水ポンプ重によ る蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-低 範囲) 炉心出口温度	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3 (全)	0	3 (全)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	12(6)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(狭域)	蒸気発生器水位(広域)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3(3)	3 (全)	1 (B)	3 (全)	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		補助給水ポンプ水位	2(2)	2 (全)	2 (全)	2(2)	2 (全)	2 (全)	1 (全)	—	
		補助給水ポンプ水位	2(2)	2 (全)	2 (全)	2(2)	2 (全)	2 (全)	1 (全)	—	
	補助給水流量	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		補助給水流量	12(6)	12 (全)	12 (全)	12(6)	12 (全)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サボート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	計器数	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響				
				直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側による 主蒸気速がし弁(現場手 動操作)による主蒸気速が し弁の機能回復 判断基準 主蒸気速がし弁(現場手 動操作)による主蒸気速が し弁の機能回復	蒸気発生器2次側による 炉心冷却(蒸気放出)	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	1	0	0	0	0	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)		1	1	1	3 (全)	0	0	3 (全)	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)		3(3)	0	0	3 (全)	0	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		原子炉容器水位		1	1	1	1	1	1	1	1	ケース 1
		サブクール度		1	1	1	1	0	0	0	0	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)		2(2)	1	1	2	1	1	1	1	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)		3(3)	1	1	3 (全)	0	0	3 (全)	0	ケース 6
		原子炉格納容器圧力		4(2)	1	1	4	1	1	1	1	ケース 6
		格納容器内温度		2(2)	1	1	2	0	0	2	2	ケース 6
		原子炉格納容器圧力		4(2)	1	1	4	1	1	1	1	ケース 1
		格納容器内温度		2(2)	1	1	2	0	0	2	2	ケース 1
		格納容器圧力(狭域)		2(2)	1	1	2	1	1	1	1	ケース 6
格納容器圧力(AAM用)		2	0	2	2	0	0	0	0	ケース 1		
格納容器再循環サンプ水 位(狭域)		2(2)	1	1	2	1	1	1	1	ケース 1		
主蒸気ライン圧力		12(6)	3 (全)	3 (全)	12 (全)	0	0	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サブポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称 ()内はPAM	計器数	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による 炉心冷却（蒸気放出） 主蒸気速がし率(炉内)手 動操作による主蒸気速が し率の機能回復	判断基準	蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	蒸気発生器水位(低域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	コース 1	
		蒸気発生器水位(中域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	蒸気発生器水位(中域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	コース 1
		補助結水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—	補助結水ピット水位	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	コース 3
		蒸気発生器水位(高域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位(高域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	コース 4	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度(広域-低 温側)	2(2)	2	1	1	コース 4	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	コース 4	
		1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	コース 4	
		補助結水ピット水位	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	補助結水ピット水位	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	コース 3	
		蒸気発生器水位(低域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位(低域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	コース 3	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
蒸気発生器2次側による炉心停炉（蒸気放出） 主蒸気速がし弁(理境手動操作)による主蒸気速がし弁の機能回復 明断基準	油幹線1L, 2L電圧	油幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	油幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L終線運断警報	—	—	
	後志幹線1L, 2L電圧	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	
	甲母線電圧, 乙母線電圧	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	1	—
	6-A, B, C1, C2, D母線電圧	6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高压母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—
	制御用空気圧力	制御用空気圧力	2(2)	2	1	1	③	制御用空気系の動作状態を確認するパラメータ	M/C補機 操作器表示(運転状態)	—	—	—
	原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	制御用空気圧補機操作器表示	—	—	—
	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	8	8	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—

全:すべてのグループの計器の合計数

A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出) 主蒸気速がし弁機作用可 備型空気がベベによる主 蒸気速がし弁の機能回復	判断基準	制御用空気圧力	2(2)	1	1	—	—	制御用空気圧補機操作 器表示	—	—	—	—	
		主蒸気ライン圧力	12(6)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	
		補助結水流量	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	
								1次冷却材温度(広域-高 範囲)	2(2)	2	1	1	1
								補助結水ピント水位	2(2)	2	1	1	1
								蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	1 (B)
								蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B直流電源を 延命した場合		
可搬型大型海水ポンプ車 を用いたA-制御用空気 圧操機(海水ポンプ)による 主蒸気速がし弁の機能回 復 蒸気発生器2次側による 炉心冷却(蒸気放出)	制御用空気圧力	2(2)	2	1	1	—	—	制御用空気圧補機操作 器表示	—	—	—	—		
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
								1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	1	1	1	—
								補助給水ピント水位	2(2)	2 (全)	2	1	1	—
								蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サボート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			
				直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側のファイアドアン ドフロード	判断基準	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	油幹線1L, 2L, 巻巻幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	6-A, B母線電圧	4(2)	1	1	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	1	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	2	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却母管流量	8	0	4	原子炉補機冷却母管ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
						炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
						炉心出口温度	1	1	0	1*1	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1

常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側のファイアドアン ドブロード 判断基準	蒸気発生器水位(広域)	蒸気発生器水位(狭域)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	—	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
蒸気発生器2次側のファイアドアン ドブロード	蒸気発生器水位(広域)	蒸気発生器水位(狭域)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	—	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
補助結水流量	補助結水ピット水位	補助結水ピット水位	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助結水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(広域)	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		
				直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合	
格納容器内自然対流冷却	可搬型大型逐水ポンプ車を用いたC、D-1格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4(2)	1	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	1	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポータ系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
代替補機冷却 可搬型大型送水ポンプ車 によるA前注注入水 /海水冷却への補機冷 却水(海水)通水	判 断 基 準	油幹線1L, 2L電圧	2	0	③	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	4(2)	4	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	③	常用及び非常用高压母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—
		炉心出口温度	1	0	②	—	3(3)	3 (全)	0	0
		格納容器高レベルアラ ーム(高レベル)	2(2)	1	①	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
		モニタリングホスト	2	1	—	—	3(2)	2	1	1
		格納容器高レベルアラ ーム(低レベル)	—	—	—	—	7	7	0	0
		格納容器高レベルアラ ーム(高レベル)	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器高レベルアラ ーム(低レベル)	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1

常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サブポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
代替機 大型送水ポンプ車 によるA-副御用空気圧 補機(浄水冷却)への補機 冷却水(浄水)通水	可搬型大型送水ポンプ車 によるA-副御用空気圧 補機(浄水冷却)への補機 冷却水(浄水)通水	油幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		A-副御用空気圧力	1(1)	1	1	0	—	—	—	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	—	A-副御用空気圧補機操 作器表示	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	—	—	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
										原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称 ()内はPAM	計器数	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			
				直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合		
可 搬 型 大 容 量 海 水 送 水 ポンプ車による代替補機冷却	判断基準 補機冷却水(可搬型大容 量海水送水ポンプ車冷 却)による負荷除去ポンプ を用いた代替補機冷却	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	4	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	1	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	2	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却器不流量	8	0	4	—	—	—	—	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差した場合	B直流電源交 差した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差した場合	B直流電源交 差した場合				
格納容器内自然対流冷却 C、D-格納容器再循環 ユニットによる格納容器内 自然対流冷却	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	2	0	2	ケース 1	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	1	1	0	0	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	2	2	0	0	②	—	—	2	2	1	1	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	4	4	1	1	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	1	①	—	—	1	1	0	0	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
格納容器内温度	2	2	0	0	②	—	—	2	2	1	1	ケース 6	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燃料取扱用水ピット水位	2	2	0	0	②	—	—	2	2	1	1	ケース 3	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	0	2	②	—	—	2	2	1	1	ケース 3	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燃料取扱用水ピット水位	2	2	0	1	①	—	—	2	2	1	1	ケース 3	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	0	2	①	—	—	2	2	1	1	ケース 3	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ 判断基準 代替格納容器スプレイ シンプによる代替格納容器 スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	2	0	2	ケース 1	
		格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	1	0	ケース 1	
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
	原子炉格納容器圧力	4(2)	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1	
		格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1
	格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3
	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	2	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブ水 位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3
B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	①	—	2	1	ケース 3		
	燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3	
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイン による代替格納容器 スプレイン	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	0	2	①	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(狭域)	1	1	0	1	①	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	0	2	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	①	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	ケース 1
		格納容器水位	1	1	0	1	①	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
消防給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	消防給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
E—格納容器スプレイン と器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	①	—	E—格納容器スプレイン と器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	ケース 2		
代替格納容器スプレイン の出口積算流量	1	1	0	1	①	—	代替格納容器スプレイン の出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			評価		
				直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合				
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	格納容器水位	格納容器水位	1	1	0	1	①	—	燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		燃料取水用ピット水位	—	—	—	—	—	—	燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	B-格納容器スプレイポンプ出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	ケース 2	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	—	—	—	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2	
	操作	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	—	—	—	—	—	—	燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	6-A, B母線電圧	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	6	6	0	6	③	代替非常用発電機電圧, 電力, 周波数	6	6	6	6	6	6	—
		6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	③	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	燃料取水用ピット水位	燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器内循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 2
		燃料取水用ピット水位	—	—	—	—	—	—	格納容器内循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	0	1	ケース 2
補助給水ピット水位	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器内循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 2	
	補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	1	ケース 2	
代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	1	1	1	1	③	代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	
	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	—	—	—	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ運転状態(現場)	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ 電動機駆動ポンプ又は はじめての駆動ポンプ シフトによる代替格納容器 スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイが シフト出口積算流量	1	1	0	1	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
								格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
								格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
								ろ過タンク水位	2	2	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ターボゼーゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(狭域)	1	1	1	0	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 (広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	0	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	1	0	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—		
E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	—	—	—	—		
代替格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—		
ろ過タンク水位	2	2	2	0	—	—	—	—		
AAM用消火水積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合	直後	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ディーゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器水位	1	0	1	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	—	—	2	1	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	—	—	2	1	1	1	—
		E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	0	1	1	0	0	1	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	0	1	1	0	0	1	—
		AM用消火水積算流量	1	0	1	1	0	0	—	
		ろ過水タンク水位	2	0	2	0	2	0	—	
		ろ過水タンク水位	2	0	2	0	2	0	—	
		格納容器再循環サンプル水位(実域)	2(2)	0	2	1	2	1	—	
		ろ過水タンク水位	2	0	2	0	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	B直流電源交 差命じた場合
代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	格納容器再密閉シンプ水 (狭域)	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器内温度	2(2)	2	2	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	
		格納容器圧力(狭域)	1	1	1	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
		格納容器内温度	2(2)	2	2	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器再密閉シンプ水 (狭域)	2(2)	2	2	—	格納容器再密閉シンプ水 (狭域)	2(2)	2	1	1	—	

注:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ 海水を用いた可搬式大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	1	1	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	1	0	0	0	—
	操作	格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	2	2	1	1	—
	格納容器再循環ポンプ水 位(伝感)	格納容器再循環ポンプ水 位	1	1	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
		E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	—	—	—
代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	1	1	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	直後	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレインプ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	1	0	1	1	—
		格納容器スプレインプ出口積算流量	1	1	0	1	1	0	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)			2	2	1	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)			2	2	1	1	1	—
		E-格納容器スプレインプ出口積算流量(AM用)	1			1	1	0	1	1	—
		代替格納容器スプレインプ出口積算流量	1			1	1	0	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)			2	2	1	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)			2	2	1	1	1	—
		格納容器内循環サンプ水位(伝導)	2(2)			2	2	1	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハラムータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ 代替給水ピストン水源とし た可搬型大流量ポンプ 車による代替格納容器ス プレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
	代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
			格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
		燃料取扱用水ピストン水位	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	
		補助給水ピストン水位	2(2)	2	0	2	—	—	燃料取扱用水ピストン水位	2(2)	2	1	1	—	
		補助給水ピストン水位	2(2)	2	0	2	—	—	補助給水ピストン水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイン 操作	格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2	2	2	2	—	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	2	2	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(後継)	1	1	1	1	—	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2	2	2	2	—	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(仮置)	2(2)	2	2	2	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(仮置)	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	1	—	—	原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	格納容器水位	1	1	0	1	—
格納容器再循環ポンプ水 位(仮置)	格納容器再循環ポンプ水 位(仮置)	格納容器再循環ポンプ水 位(仮置)	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
格納容器スプレイン 用	格納容器スプレイン 用	格納容器スプレイン 用	1	1	1	1	—	—	E—格納容器スプレイン 用器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	—
		代替格納容器スプレイン ポンプ出口積算流量	1	1	1	1	—	—	代替格納容器スプレイン ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	直後	ハバメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合		B.直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取水ポンプ水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	E-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	代替格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取水ポンプ水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	明 断 基 準 原水槽を水源とした可搬型大形送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 (低広域)	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 (低広域)	2(2)	2	1	1	—
		代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ 原本機を本類とした可搬 型本型送本ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ	格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	1	1	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	1	0	0	0	—
	操作	格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	2	2	1	1	—
	格納容器再循環ポンプ水 位(伝感)	格納容器再循環ポンプ水 位	2(2)	2	2	2	2	2	1	1	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	1	1	1	0	0	—
		格納容器水位	1	1	1	1	1	1	0	0	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	2	2	1	1	—
		E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	1	1	0	0	—
代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	1	1	1	1	0	0	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	直後	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合		B.直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ	操作 原水槽を水源とした可搬型大流量ポンプ車による代替格納容器スプレイ	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	2	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	2	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—
		E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	1	1	0	1	—	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	1	1	0	1	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	2	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	2	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	0	2	—	2(2)	2	1	1	—	—
		2次系純水タンク水位	2	2	0	2	—	2	2	0	—	—	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	2	—	2	2	0	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		推定ケース	
				直後	A直流電源を 延命した場合				直後	A直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	0	③	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	
		後立幹線1L, 2L電圧	2	0	③	後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4(2)	4	1	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	
		原子炉補給冷却水供給母管流量	5	0	③	原子炉補給冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	
		原子炉補給冷却水冷却器補給冷却水流量	8	0	③	原子炉補給冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1
		格納容器スプレイ流量	2	0	②	—	格納容器内湿度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器内湿度	2(2)	2	1	1	格納容器内湿度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱用ホット水位	2	0	0	—	燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器甲種頭サブホ ット(広域)	2(2)	2	1	1	格納容器甲種頭サブホ ット(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
AMB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレインフ	B-格納容器スプレインフ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	0	1	①	—	—	—	—	—
		2(2)	1	1	①	—	—	—	—	—
代替格納容器スプレインフ	燃料取扱費用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
代替格納容器スプレインフ	燃料取扱費用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	温度電源を 延命した場合	計器名	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		温度電源を 延命した場合					
代替格納容器スプレイ B-格納容器スプレイポン プ(自己冷却)による代替 格納容器スプレイ	判定 基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	1	1	0	1	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再密閉ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	格納容器再密閉ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイン B-格納容器スプレイン C-自己冷却による代替 格納容器スプレイン	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(装填)	1	1	0	0
		格納容器内温度	2	2	2	2	—	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1
		格納容器圧力(装填)	1	1	1	1	—	—	格納容器圧力(装填)	1	1	0	0
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1
		格納容器再循環サンプ水 位(装填)	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(装填)	2(2)	2	1	1
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	1	—	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	格納容器水位	1	1	0	1
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1		
B-格納容器スプレイン 冷却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	B-格納容器スプレイン 冷却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1		
代替格納容器スプレイン サンプ出口積算流量	1	1	1	1	—	—	代替格納容器スプレイン サンプ出口積算流量	1	1	0	1		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 操 作	格納容器水位	1	1	1	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	—	2(2)	2	1	1	—
		2(2)	2	1	—	2(2)	1	0	0	—
		1	1	0	—	1	1	0	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
								格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	温度電源を 延命した場合	ハラムータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		温度電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ 断水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	—	—	4	1	1	2	0	2	—	
		原子炉格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	0	—
	格納容器圧力(AAM用)	2	0	2	—	—	2	2	0	1	1	0	—	
		格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	0	—
	B ₁ -格納容器スプレイ流量	1	1	0	—	—	1	1	0	—	2	1	1	—
		B ₁ -格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	—	—	1	1	0	2	1	1	—
	格納容器再循環サブ水 (仮広域)	2(2)	—	—	—	—	—	2	—	—	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—
	格納容器再循環サブ水 (仮広域)	2(2)	—	—	—	—	—	2	—	—	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—
格納容器再循環サブ水 (仮広域)	2(2)	—	—	—	—	—	2	—	—	2	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ 判断基準 代替給水ピットを水源とし た可搬型大到達水ポンプ 重による代替格納容器ス プレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
	格納容器内温度	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
	格納容器内温度	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
	燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
	代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	0	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
	B ₁ -格納容器スプレイ流 量	1	1	0	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
	B ₁ -格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	直後	ハラムータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	直後	
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 原水槽を水側とした可搬 型大口径送水ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ 判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	—	—	2	0	2	—
		原子炉格納容器圧力(狭域)	1	—	—	—	—	1	0	0
	格納容器圧力(AAM用)	2	0	2	—	—	1	1	0	—
		格納容器内温度	2(2)	—	—	—	—	2	1	1
	代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	0	1	—	—	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	2	1	1
	B-格納容器スプレイ流 量	1	0	0	—	—	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	2	1	1
	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	0	1	—	—	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	2	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			
格納容器内自然対流冷却 可搬型大型海水ポンプ五 台(C、D)一極格納器 内自然対流冷却 容器内自然対流冷却	判 断 基 準	母幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	0	0	0	0	—	
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	0	0	0	0	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	0	0	0	0	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	1	1	1	1	—	—
		原子炉補給冷却水供給 母管流量	5	5	0	0	2	2	—	—	—	—
		原子炉補給冷却水冷却 器補給冷却水流量	8	8	0	0	4	4	—	—	—	—
		母幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ										
		後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ										
		甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ										
		常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ										

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
格納容器内自然対流冷却 C、D-格納容器再循環 ユニットによる格納容器内 自然対流冷却	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			直後	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
代替格納容器スプレイは シンプによる代替格納容器 スプレイ 判断基準	原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1	
		格納容器圧力(狭域)							格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1	
	格納容器スプレイ流量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1	
	燃料取扱用ホピット水位	燃料取扱用ホピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1	
		格納容器再循環サブ水位(広域)							格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6	
	燃料取扱用ホピット水位	燃料取扱用ホピット水位	2	2	0	0	②	—	燃料取扱用ホピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サブ水位							格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	合計														
	全:すべてのループの計器の合計数														
A(B,C):当該ループの計器数															

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイン ポンプによる代替格納容器 スプレイン	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 6	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1	
		格納容器内温度	2	2	2	0	2	①	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1	
		格納容器圧力(後継)	1	1	1	0	2	①	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	2	0	2	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器再循環ポンプ水 位(後継)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水 位(後継)	2(2)	2	1	1	1	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	0	2	①	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	ケース 1
		格納容器水位	1	1	1	0	2	①	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
E—格納容器スプレイン冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	2	①	—	E—格納容器スプレイン冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	ケース 2		
代替格納容器スプレイン ポンプ出口積算流量	1	1	1	0	2	①	—	代替格納容器スプレイン ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	計器数	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称 ()内はPAM	計器数	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—	
		燃料取替用水ビット水位	2(2)	2	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		補助給水ビット水位	2(2)	2	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算電量(AM用)	1	1	0	1	—	1	0	1	ケース 2	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	—	—	1	1	0	1	ケース 2	
		燃料取替用水ビット水位	2(2)	2	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		補助給水ビット水位	2(2)	2	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		格納容器内循環サブ水位(広域)	2(2)	2	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		代替非常用発電機電圧、電力、周波数	6	6	0	6	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	6	6	6	6	—
		6-A, B母線電圧	7(2)	7	1	1	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
燃料取替用水ビット水位	2(2)	2	1	1	—	2(2)	2	1	1	ケース 2		
補助給水ビット水位	2(2)	2	1	1	—	2(2)	2	1	1	ケース 2		
代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	1	1	1	1	代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B/C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ 電動機駆動ポンプ又は はドリーマー駆動ポンプ スプレイによる代替格納容器 スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
								格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
								格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								格納容器再密閉ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
								ろ過タンク水位	2	2	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ターボゼーゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2	2	0	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	4(2)	4	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	格納容器水位	1	1	0	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		E—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	E—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—
		代替格納容器スプレイサンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	代替格納容器スプレイサンプ出口積算流量	1	1	0	1	—
		ろ過タンク水位	2	2	0	2	—	—	ろ過タンク水位	2	2	0	0	—
		AAM用消火水積算流量	1	1	0	1	—	—	AAM用消火水積算流量	1	1	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ディーゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	0	1	1	1	—	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	2	2	2	2	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	2	2	2	2	1	—
		E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	1	0	1	0	1	1	1	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	1	0	1	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	2	0	2	0	0	0	0	—
		AM用消火水積算流量	1	1	1	0	1	0	0	0	0	—
		ろ過水タンク水位	2	2	2	0	2	0	0	0	0	—
		格納容器再循環ポンプ水位(表減)	2(2)	2	2	0	2	0	1	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	2	0	2	0	0	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
AMB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後		推定ケース B直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サブ水 (広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 海水を用いた可搬式大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(狭域)	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—	—		
E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—		
代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 代替給水ピストンを水源とした可搬型大流量ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
									格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
									格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイン 操作	格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	2	1	0	—	
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	4	1	1	—	
		格納容器圧力(装填)	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	—	
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—	
		格納容器再循環サンプ水 (位(装填))	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
燃料取扱用水ピット水位	燃料取扱用水ピット水位	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2	2	1	1	—	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—	
		E—格納容器スプレイン 装置出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
代替格納容器スプレイン 出口積算流量	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ	原水槽を水源とした可搬型大形送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ 判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水(狭域)	2(2)	2	1	1	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水(狭域)	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 原本機を本類とした可搬型本型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ 操作	格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	
	原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	—	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	—	
		格納容器内温度	—	—	—	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1	—	
	格納容器圧力(AAM用)	格納容器圧力(AAM用)	2	0	2	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	—	
	格納容器再循環ポンプ水位(伝感)	格納容器再循環ポンプ水位	格納容器再循環ポンプ水位	2(2)	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位(伝感)	2(2)	2	1	1	—
			原子炉下部キャビタイ水位	—	—	—	—	原子炉下部キャビタイ水位	1	1	0	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	格納容器水位	—	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	1	—
			燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1
補助給水ピット水位	補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
	E—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	—	—	—	—	—	E—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	—	—	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				全:すべてのループの計器の合計数											
		A(B,C):当該ループの計器数													

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレイ	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	③	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	冷却線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—		
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	冷却線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—		
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧警報	—	—	—	—	
		原子炉補給冷却水供給母管流量	5	5	0	③	原子炉補給冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補給冷却水ポンプの運転状態	M/C補給 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		原子炉補給冷却水冷却器補給冷却水流量	8	8	0	③	原子炉補給冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補給冷却水ポンプの運転状態	原子炉補給冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	①	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	格納容器内湿度	3(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	①	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	1	①	—	—	格納容器圧力(稼働)	1	1	0	0	ケース 1
燃料取扱用ホット水位	—	—	—	—	—	—	格納容器内湿度	3(2)	2	1	1	ケース 6		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハラムータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ B-格納容器スプレイポン プ(自己冷却)による代替 格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	4	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(狭域)	1	1	1	1	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再密閉ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	格納容器再密閉ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイン B-格納容器スプレイン 組(自己発熱)による代替 格納容器スプレイン	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(狭域)	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—		
燃料取扱用水ピット水位	1	1	2	1	—	—	—	—	—	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—		
B-格納容器スプレイン冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—		
代替格納容器スプレイン ポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 操 作	格納容器水位	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ相隣冷却水流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ電動機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ相隣冷却水流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ相隣冷却水流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ相隣冷却水流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ相隣冷却水流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	0	0	—
		B-格納容器スプレイ流量	1	0	0	—	—	格納容器内温度	2(2)	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	0	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	—
		ろ過タンク水位	2	0	0	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	0	0	—
								格納容器内温度	2(2)	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	—
								格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	—
								格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	温度電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B温度電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ 断水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	—	—	4	1	1	2	0	2	—	
		原子炉格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	0	—
	格納容器内温度	2	0	2	—	—	2	2	0	2	1	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	4(2)	1	1	—
	格納容器圧力(狭域)	2	0	2	—	—	2	2	0	—	1	0	0	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	—
	B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	—	—	1	1	0	—	2(2)	2	1	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	—
	格納容器再循環サブ水	1	1	0	—	—	1	1	0	—	2(2)	2	1	—
		格納容器再循環サブ水	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハラムータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ 判断基準	代替給水ピットを水源とした可搬型大到達水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
									格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
									格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 原水槽を水櫃とした可搬 型大口径送水ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ	判 断 基 準 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 出口積算流量	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 (仮広域)	2(2)	2	1	1	—
		B ₁ -格納容器スプレイ流 量	—	—	—	—	—	—	—	—	B ₁ -格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—
		B ₁ -格納容器スプレイ流 器出口積算流量(AAM 用)	—	—	—	—	—	—	—	—	B ₁ -格納容器スプレイ流 器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			
格納容器内自然対流冷却 可搬型大型海水ポンプ車 を用いたC、D一格納容器 内相対ユニットによる格納 容器内自然対流冷却	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	③	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	②	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	4(2)	4	1	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		原子炉補給冷却水供給 母管流量	5	5	0	②	原子炉補給冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	—	—	—	—	—
		原子炉補給冷却水冷却 器補給冷却水流量	8	8	0	②	原子炉補給冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	—	—	—	—	—
		冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	③	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	②	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	4(2)	4	1	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハブメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
格納容器スプレイポンプ による格納容器スプレイ の 断 基 準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	①	—	原子炉格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	ケース 1				
		2	2	0	①	—	格納容器圧力(AM用)	1	1	0	0	ケース 1				
		2(2)	2	1	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6				
		2(2)	2	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1				
		2(2)	2	0	①	—	格納容器圧力(熱媒)	1	1	0	0	ケース 1				
		2(2)	2	1	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6				
		2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—				
		2	2	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3				
		2	2	0	②	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 3			
		1	1	0	①	—	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	1	ケース 3			
												2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B),C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	日直流電源を 延命した場合		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	日直流電源を 延命した場合			
格納容器スプレイポンプ による格納容器スプレイ 操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 6	
								2	2	0	2	ケース 6	
									2	2	0	2	ケース 1
									1	1	0	0	ケース 1
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 1	
								2(2)	2	1	1	ケース 6	
	格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	②	—	2(2)	2	1	1	ケース 3	
								2(2)	2	1	1	ケース 3	
								2(2)	2	1	1	ケース 3	
								2(2)	2	1	1	ケース 3	
D-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 3		
							2(2)	2	1	1	ケース 3		

全:すべてのグループの計器の合計数
AMB(O):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	目的流量類を 延命した場合		
格納容器スプレイポンプ による格納容器スプレイ 操作		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	2	1	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	—	1	0	1	ケース 1	
		格納容器水位	1	1	1	0	—	—	—	1	0	1	ケース 1
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	2	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイポンプ出口積算流量(AM用)	1	1	1	0	—	—	—	1	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	1	0	1	ケース 2
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	①	—	—	2	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイポンプ出口積算流量(AM用)	1	1	1	0	—	—	—	1	0	1	ケース 2
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	1	0	1	ケース 2		
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	2	1	—	—	—	2	1	1	ケース 2		
B-格納容器スプレイポンプ出口積算流量(AM用)	1	1	1	0	—	—	—	1	0	1	ケース 2		
格納容器スプレイ流量	2	2	2	0	—	—	—	2	0	0	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		
格納容器内自然対流冷却	判断基準 C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	0	2	0	ケース 1	
		格納容器圧力(熱域)									ケース 1
		格納容器内温度									ケース 6
		原子炉格納容器圧力									ケース 1
		格納容器圧力(熱域)									ケース 1
		格納容器内温度									ケース 6
		燃料取扱用水ピット水位									ケース 3
		格納容器再循環サブ水位(広域)									ケース 3
		燃料取扱用水ピット水位									ケース 3
		格納容器再循環サブ水位(広域)									ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直前直後 B:直前直後 C:直前直後 D:直前直後 E:直前直後 F:直前直後 G:直前直後 H:直前直後 I:直前直後 J:直前直後 K:直前直後 L:直前直後 M:直前直後 N:直前直後 O:直前直後 P:直前直後 Q:直前直後 R:直前直後 S:直前直後 T:直前直後 U:直前直後 V:直前直後 W:直前直後 X:直前直後 Y:直前直後 Z:直前直後	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直前直後 B:直前直後 C:直前直後 D:直前直後 E:直前直後 F:直前直後 G:直前直後 H:直前直後 I:直前直後 J:直前直後 K:直前直後 L:直前直後 M:直前直後 N:直前直後 O:直前直後 P:直前直後 Q:直前直後 R:直前直後 S:直前直後 T:直前直後 U:直前直後 V:直前直後 W:直前直後 X:直前直後 Y:直前直後 Z:直前直後	推奨ケース					
格納容器内自然対流冷却	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 6	
		原子炉補機冷却水サージタンク圧力(AAM用)	1	1	1	1	②	—	1	1	1	1	ケース 1	
		原子炉補機冷却水サージタンク水位	2(2)	2	1	1	①	—	2	0	2 *1	2 *1	ケース 4	
		C、D—格納容器再循環ユニット補機冷却水流量	2	2	2	2	②	—	2(2)	2	1	1	ケース 4	
		C、D—原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度	2	2	0	0	②	—	2	0	2 *1	2 *1	ケース 4	
		B—原子炉補機冷却水B-1母管温度	1	1	0	0	②	—	2	0	2 *1	2 *1	ケース 4	
		格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	2	0	2 *1	2 *1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 4	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	1	1	0	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	0	0	②	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	4(2)	4	1	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	1	1	0	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	0	0	②	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6

*1 計器取付け後、監視可能
全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 失った場合 B.交流電源を 失った場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 失った場合 B.交流電源を 失った場合		
格納容器内自然対流冷却	C、D-格納容器再沸器 ユニットによる格納容器内 自然対流冷却	格納容器内水素濃度	1	0	1 * 1	①	—	5	0	5	ケース 8
		格納容器水素イグナイト 温度	13	13	0	—	—	13	0	13	ケース 8
格納容器内自然対流冷却	操作	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	—	—	4	1	1	ケース 9
		ガス分析計による水素濃 度	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 1 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A,B,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		目的流量類を 延命した場合		
代替格納容器スプレイホ シンプによる代替格納容器 スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	ケース 1
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		Eー格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合					
代替格納容器スプレイ 駆動機駆動用モータブローア はゴイアゾール駆動機が ブローによる代替格納容器 スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	格納容器再循環シンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	ろ過水タンク水位	2	2	—	—	—

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	明断基準 清水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	—	—
		代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(AM用)	1	1	0	1	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(熱域)	1	1	1	0	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
AB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイ 代替給水ポンプ水源とし た可搬型大流量ポンプ 車による代替格納容器ス プレイ	明 断 基 準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—		
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	—		
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	1	1	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	—		
		格納容器内温度	2(2)	2	2	0	2	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	0	2	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		補助給水ピット水位	1	1	1	0	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	0	2	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
AB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	断水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ重による代替格納容器スプレイ 明断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	1	1	1	1	1
		格納容器圧力(熱域)	1	1	1	0	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		代替格納容器スプレイが ポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
AB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響				
				直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合			
格納容器内自然対流冷却 可搬型大型海水ポンプモ を備えたC、D一極納容器 内自然対流冷却 容器内自然対流冷却	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	0	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	③	0	0	冷却線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	③	0	0	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	③	0	0	6-A, B母線電圧	4	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	③	1	—	M/C母線電圧低警報 M/C饋線 操作器表示 (運転状態)	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	③	2	—	原子炉補機冷却水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	0	原子炉補機冷却海水系の運転状態を 確認するパラメータ	③	4	—	原子炉補機冷却海水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源交 差時した場合 B:直流電源交 差時した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源交 差時した場合 B:直流電源交 差時した場合		
格納容器内自給対流冷却 可搬型大型送水ポンプ車 を用いたC、D-格納容器 再蒸発ユニットによる格納 容器内自給対流冷却	格納容器内温度	2(2)	2	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 6
		2	2	2	②	—	2	2	0	2	ケース 6
	C、D-格納容器再蒸発 ユニット補機冷却水流量	2	2	2	②	—	2(2)	2	1	1	ケース 4
		2	2	2	②	—	4(2)	4	1	1	ケース 4
	格納容器再蒸発ユニット 入口温度/出口温度	2	0	2 * 1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 4
		2	0	2 * 1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 4
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	①	—	1	1	0	0	ケース 1
		2	2	0	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 6
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	2	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 1
		2	2	2	①	—	1	1	0	0	ケース 1
格納容器内温度	1	0	0	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 6	
	5	5	0	—	—	5	5	0	5	ケース 8	
格納容器内水素 処理装置温度	13	13	0	①	—	13	13	0	13	ケース 8	
	4(2)	4	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 9	
ガス分析計による水素濃 度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1	

全:すべてのループの計器の合計数
A/B/C:当該ループの計器数
*1 計器取付け後、監視可能
*2 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレイ 判断基準	油幹線1L, 2L電圧	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	③	0	0	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	
	後志幹線1L, 2L電圧	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	③	0	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	
	甲母線電圧, 乙母線電圧	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	②	0	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4(2)	4	1	1	
	6-A, B, C1, C2, D母線電圧	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	③	1	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	③	0	2	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水流量	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	③	0	4	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力	—	①	1	1	—	2	2	0	2	ケース 1
	格納容器圧力(AAM用)	—	①	0	2	—	1	1	0	0	ケース 1
	燃料取扱用ホット水位	—	①	1	1	—	2(2)	2	1	1	ケース 6
							4(2)	4	1	1	ケース 1
							2	2	0	0	ケース 1
							2(2)	2	1	1	ケース 6
							—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後		
代替格納容器スプレイポンプ(自己循環)による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力	2	2	0	2	—	格納容器圧力(寒域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	4	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(寒域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプル水位(寒域)	2(2)	2	1	1	—	格納容器再循環サンプル水位(寒域)	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	比直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	比直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ 判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		2	2	0	2	—	—	—	—	—
		1	1	0	0	—	—	—	—	—
		1	1	0	1	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A直流通源を 延命した場合	抽出パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A直流通源を 延命した場合		B直流通源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ	判断基準 滞水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
									格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
									格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ 代替給水ピットを水源とし た可搬型入射送水ポンプ 重による代替格納容器ス プレイ	原子炉格納容器圧力	4(C)	4	1	1	—	—	—	—	2	2	0	2	—
	原子炉格納容器圧力(狭域)									1	1	0	0	—
	格納容器内温度									2(C)	2	1	1	—
	原子炉格納容器圧力									4(C)	4	1	1	—
	格納容器圧力(狭域)									1	1	0	0	—
	格納容器内温度									2(C)	2	1	1	—
	燃料取扱用水ピット水位									2(C)	2	1	1	—
	補助給水ピット水位									2(C)	2	1	1	—
	燃料取扱用水ピット水位									2(C)	2	1	1	—
	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)									2(C)	2	1	1	—
	燃料取扱用水ピット水位									2(C)	2	1	1	—
	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)									2(C)	2	1	1	—
燃料取扱用水ピット水位									2(C)	2	1	1	—	
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)									2(C)	2	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 原水槽を水櫃とした可搬 型大口径送水ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ 判 断 基 準		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	
		原子炉格納容器圧力(狭域)							格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度							格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力							原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度							格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位							燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		B ₁ -格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	—	格納容器再循環サンブ水 (仮広域)	2(2)	2	1	1	—
		B ₁ -格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合					
格納容器スプレイトレインによる格納容器スプレイトレイン	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		2(2)	2	1	1	①	—	—	—	4(2)	4	1	1	ケース 6
	格納容器内温度	4(2)	4	1	1	①	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 6
	原子炉格納容器圧力	2	2	0	2	①	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 6
	格納容器再循環サンプリング水位(表域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 1
	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	—	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器水位	1	1	0	0	—	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 2
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 2
原子炉格納容器スプレイトレインによる格納容器スプレイトレイン	原子炉格納容器スプレイトレインによる格納容器スプレイトレイン	1	1	0	0	—	—	—	1	1	0	0	ケース 2	
代替格納容器スプレイトレイン	代替格納容器スプレイトレイン	1	1	0	0	—	—	—	1	1	0	0	ケース 2	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合				
格納容器スプレイホーン による格納容器スプレイ	判断基準	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—		
		格納容器内高レベルアラーム(高レベル) アラーム(高レベル)	2(2)	2	1	1	①	—	—	1	ケース 1		
	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	4(2)	1	ケース 6	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	1	0	ケース 1	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	1	0	ケース 1	
		格納容器内温度	2(2)	2	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	—	—	—	—	—	4(2)	4	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	—	—	—	—	—	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	ケース 6
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 1
原子炉下部キャビティ水位	1	1	—	—	—	—	—	1	0	1	ケース 1		
格納容器水位	1	1	—	—	—	—	—	1	0	1	ケース 1		
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 2		
補助給水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	ケース 2		
B-格納容器スプレイホーン出口積算流量(AAM用)	1	1	—	—	—	—	—	1	0	1	ケース 2		
代替格納容器スプレイホーン出口積算流量	1	1	—	—	—	—	—	1	0	1	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	推定ケース	
格納容器スプレインフによる格納容器スプレイン作	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	—	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1		1	ケース 2				
	格納容器スプレイン流量	2	2	0	0	—	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		B-1格納容器スプレイン冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0		1	2(2)	2	1	1	ケース 3
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	2	2	0	0	ケース 2	
		B-1格納容器スプレイン冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0		1	1	1	0	1	ケース 2

注: すべてのグループの計器の合計数
A(B,C): 当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直電電源を 延命した場合	B直電電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直電電源を 延命した場合	B直電電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイ 断基事 代替格納容器スプレイ 断基事	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	ケース 1
格納容器再循環サブ水位(広域)	格納容器再循環サブ水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		—	—	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		—	—	—	—	—	—	—	—	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	ケース 2
格納容器スプレイ流量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2
		—	—	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合							
代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレイン	判断基準	日一格納容器スプレイン冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	①	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2	1	1	ケース 3		
		燃料取扱用水レベル水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—		
	操作	格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6
			原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1
			格納容器圧力(狭域)	4(2)	4	1	1	①	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
			格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱用水レベル水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	①	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	ケース 1
格納容器水位	格納容器水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器水位	2(2)	2	1	1	ケース 1		
	燃料取扱用水レベル水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
補助給水レベル水位	補助給水レベル水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	補助給水レベル水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
	日一格納容器スプレイン冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	①	—	—	日一格納容器スプレイン冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	ケース 2		
代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレイン	燃料取扱用水レベル水位	代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレイン	1	1	0	1	①	—	—	代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレイン	1	1	0	1	ケース 2	
		燃料取扱用水レベル水位	1	1	0	1	①	—	—	燃料取扱用水レベル水位	1	1	0	1	ケース 2	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合					
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	操作	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	①	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	①	—	—	—	1	1	0	1	ケース 2	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	—	—	1	1	0	1	ケース 2	
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サブ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
		代替非常用発電機電圧、電力、周波数	6	6	0	6	③	—	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	—	6	6	6	6	—	—
		6-A、B母線電圧	7(2)	7	1	1	③	—	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2	
		格納容器再循環サブ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	1	1	1	1	③	—	代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は デイジーセル駆動消火ポンプによる代替格納容器 スプレイ 判断基準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サブ水位(表鏡)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	—	—	—	—	—
	格納容器水位	1	1	0	0	—	—	—	—	—
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	
B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	0	—	—	—	—	—	
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	
格納容器再循環サブ水位(表鏡)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	
ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消防ポンプ又は はターゼル駆動消防ポンプ による代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	1	0	2	—	
		格納容器圧力(後継)	—	—	—	—	—	—	—	1	0	2	—	
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(後継)	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位(後継)	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水位	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	1	—
燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—		
補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—		
同一格納容器スプレイ管 出口積算流量(AM 用)	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	1	—		
代替格納容器スプレイ管 出口積算流量	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	1	—		
通水クック水位	—	—	—	—	—	—	—	2	2	0	0	—		
AM用消防水積算流量	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
代替格納容器スプレイ 電動操縦動消防ポンプは ディーゼル駆動消防ポンプ による代替格納容器 スプレイ	原子炉下部キャビティ水位 操作	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	2(2)	2	1	1	—	
		AM用消防水積算流量	1	1	0	0	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	2(2)	2	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(表取)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。